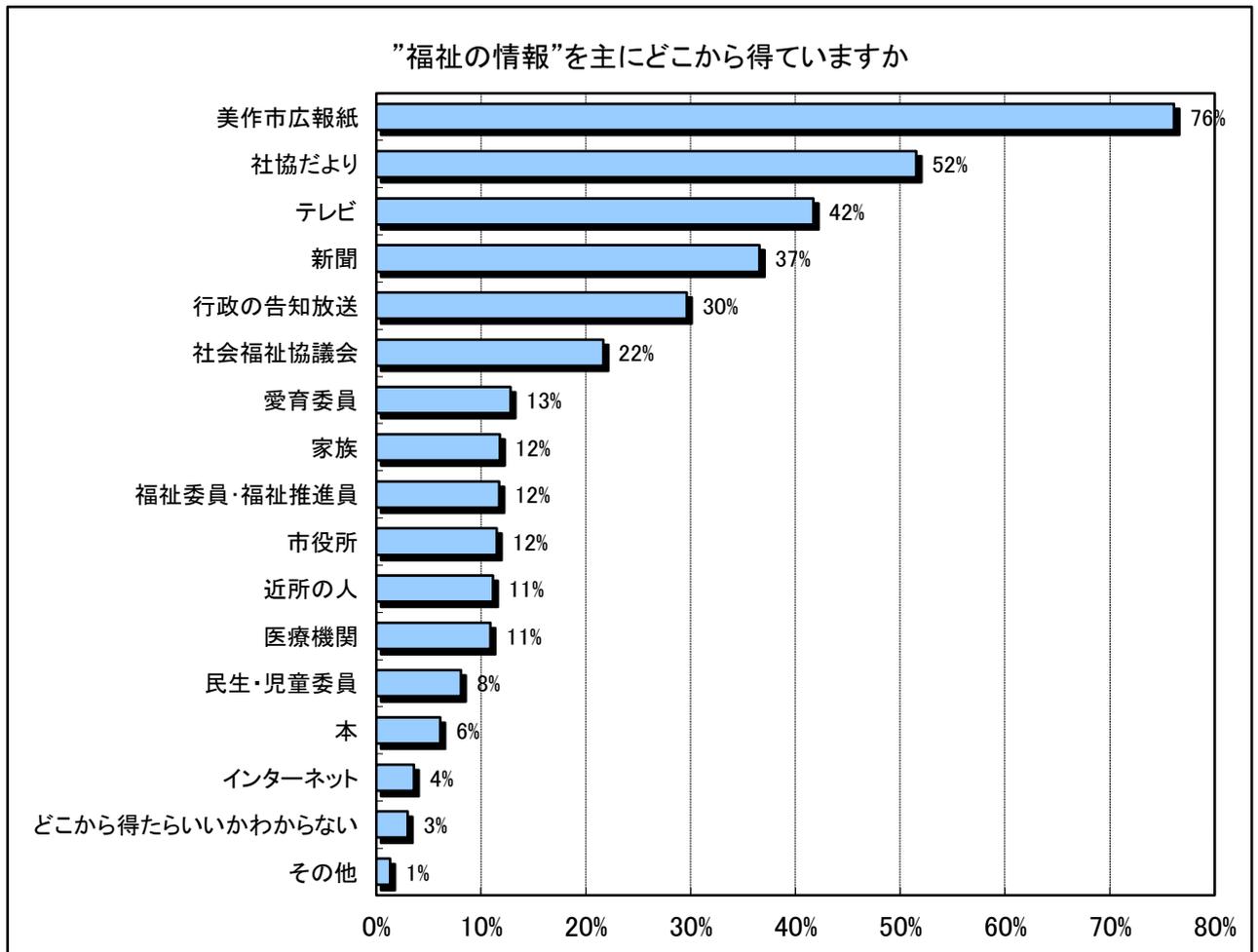


地域福祉活動計画アンケート（一般用）

福祉に対するお考えをお聞きします

問1 あなたは“福祉の情報”を主にどこから得ていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

美作市広報紙	1,520人	社協だより	1,029人	テレビ	833人
本	122人	新聞	730人	民生・児童委員	161人
愛育委員	256人	福祉委員・推進員	234人	近所の人	222人
家族	235人	インターネット	72人	医療機関	218人
市役所	230人	社会福祉協議会	432人	その他	592人
行政の告知放送（防災無線・オフトーク・無線放送）	60人				
どこから得たらいいかわからない	26人				



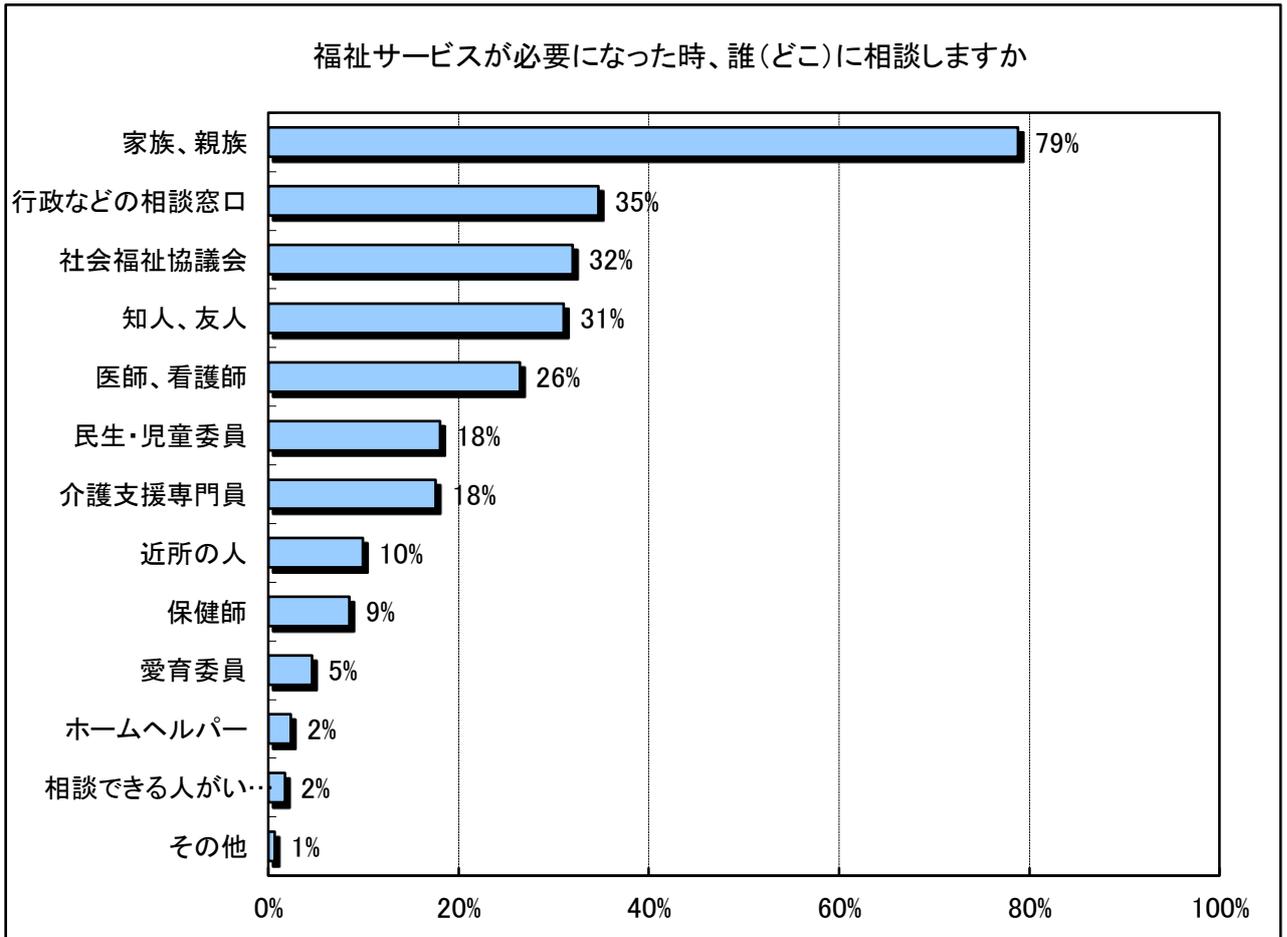
コメント

「美作市広報誌」と回答した方が76%で最も多く、次いで「社協だより」が52%となっており、活字媒体である広報誌はできるだけわかりやすい情報発信が求められます。その他「テレビ」が42%、「新聞」が37%、「行政の告知放送」が30%で上位に挙がっており、対人による情報入手はいずれも10%台となっています。

今後は、個人の目的や年齢層によって多様な情報入手手段が求められていくものと思われます。

問2 あなたが生活上の悩みを抱えたり福祉サービスが必要になった時、誰(どこ)に相談しますか。
 主なもの3つまで○をつけてください。

家族、親族	1,561人	知人、友人	615人	近所の人	196人
社会福祉協議会	633人	民生・児童委員	357人	愛育委員	91人
医師、看護師	523人	保健師	169人	行政などの相談窓口	687人
介護支援専門員	348人	ホームヘルパー	47人	相談できる人がいない	34人
その他	13人				



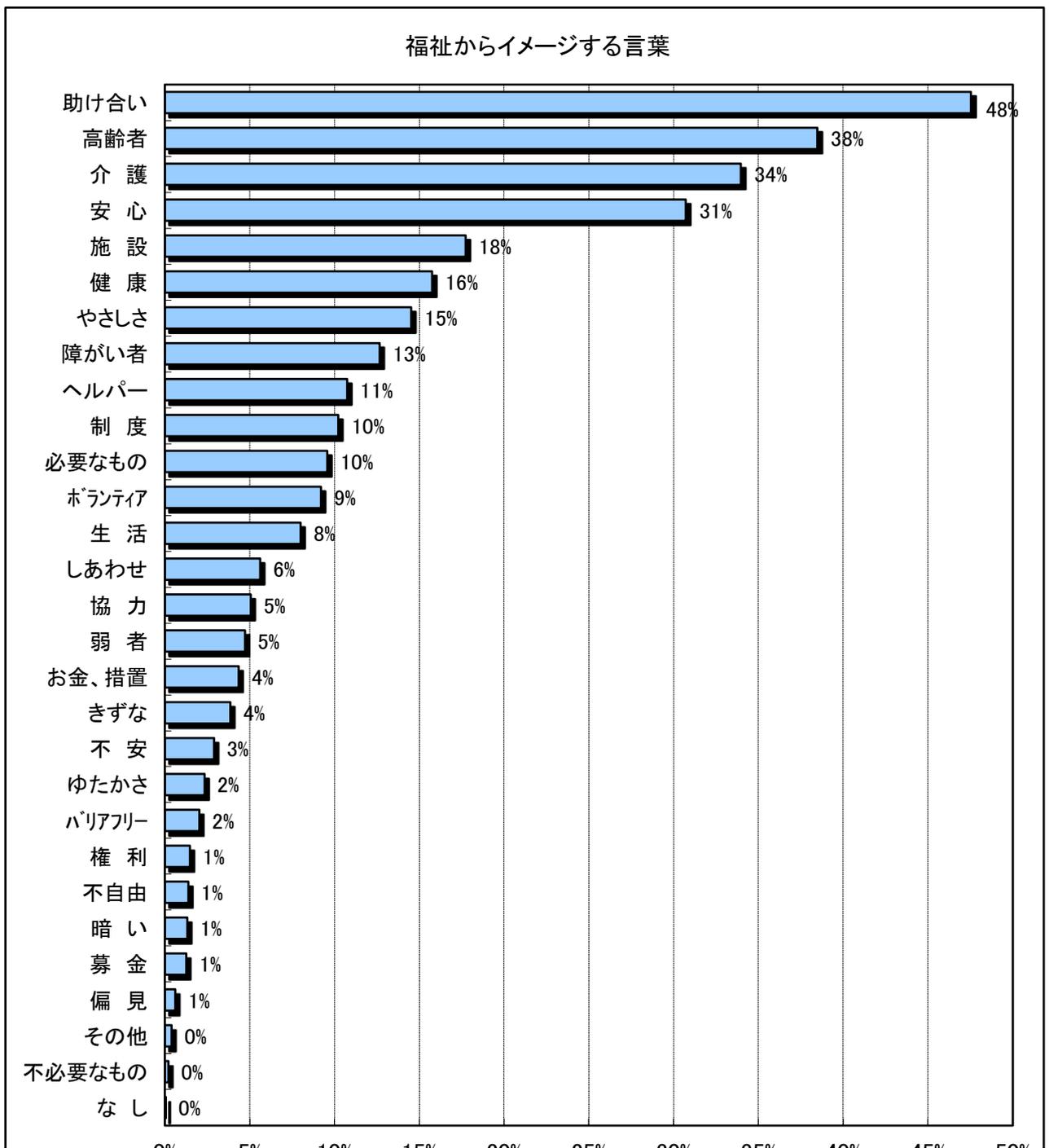
コメント

「家族、親族」と回答した方が約8割を占め、際立った数字が挙がっています。近親者を相談相手として望む意向がみられ、個人の「プライバシー」は重要なポイントであると思われます。第三者への相談先は、「行政の相談窓口」が最も多く、次いで「社会福祉協議会」となっています。

また、「相談できる人がいない」は2%ですが、実人数では34人もあり、支援策や対応の検討が求められます。

問3 あなたは、「福祉」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。主なものを3つまで○をつけてください。

安心	607人	不自由	27人	お金・措置	86人	施設	350人
やさしさ	287人	健康	311人	弱者	93人	募金	25人
しあわせ	111人	不安	57人	高齢者	760人	介護	671人
暗い	26人	きずな	76人	障がい者	250人	バリアフリー	40人
ゆたかさ	46人	権利	29人	不必要なもの	4人	ボランティア	182人
助け合い	939人	生活	158人	必要なもの	189人	協力	100人
偏見	12人	制度	202人	ヘルパー	212人	なし	1人
						その他	8人



3

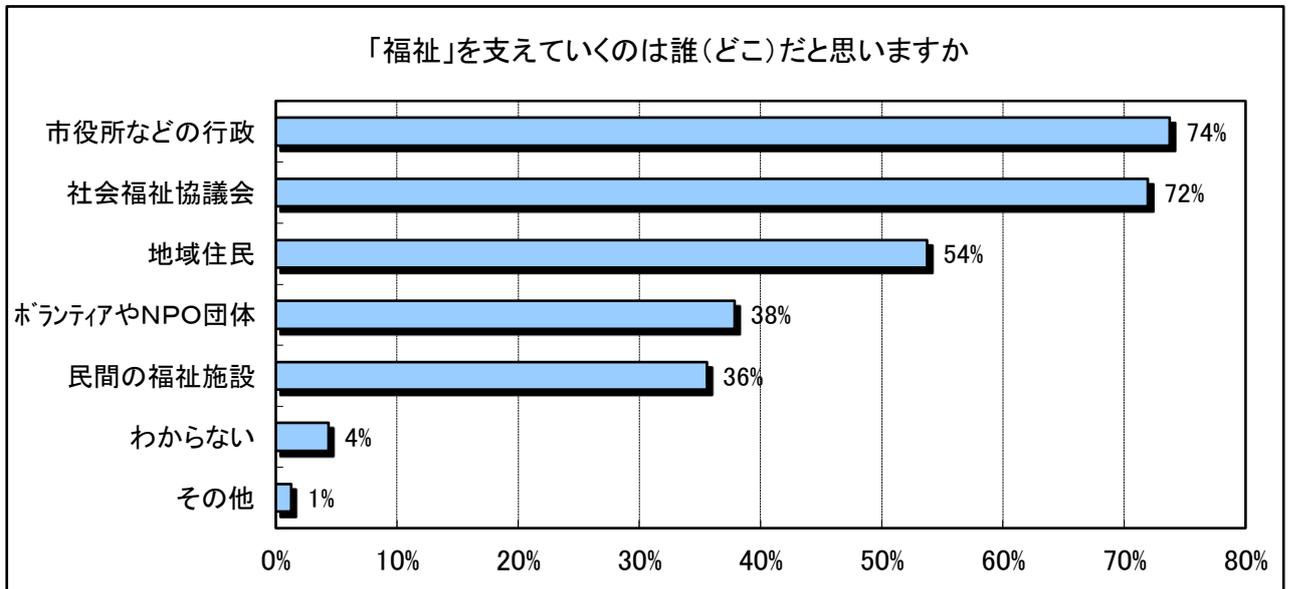
年齢別構成	助け合い	高齢者	介護	安心	施設	健康
全体	48%	38%	34%	31%	18%	16%
20歳未満	50%	33%	16%	33%	16%	16%
20歳代	14%	15%	18%	1%	8%	1%
30歳代	41%	39%	44%	15%	21%	10%
40歳代	42%	36%	41%	21%	18%	7%
50歳代	50%	35%	36%	27%	17%	8%
60歳代	50%	39%	33%	28%	20%	12%
70歳代	50%	36%	27%	37%	13%	20%
80歳代	41%	39%	20%	47%	13%	32%

コメント

「助け合い」と回答した方が48%で最も多く、次いで「高齢者」38%、「介護」34%、「安心」31%の順となりました。
 年齢別では、80歳代は「安心」、20歳・30歳代は「介護」と回答した方が最も多くなっており、福祉をイメージする言葉は、世代によって若干違いが表れています。

問4 あなたは、「福祉」を支えていくのは誰（どこ）だと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

社会福祉協議会	1,410人
市役所などの行政	1,446人
ボランティアやNPO団体	742人
地域住民	1,053人
民間の福祉施設	697人
わからない	85人
その他	25人



年齢別構成

	市役所 など行政	社会福祉 協議会	地域住民	ボ ランティア・ NPO	民間の 福祉施設	わか らな い
全体	74%	72%	54%	38%	36%	4%
20歳未満	33%	66%	83%	16%	—	—
20歳代	25%	27%	15%	12%	10%	8%
30歳代	64%	56%	47%	36%	35%	9%
40歳代	73%	58%	49%	34%	39%	3%
50歳代	78%	65%	56%	40%	36%	1%
60歳代	75%	73%	56%	38%	33%	2%
70歳代	71%	76%	55%	36%	31%	3%
80歳代	64%	70%	42%	33%	24%	4%

コメント

福祉を支えていく団体として「市役所などの行政」と回答した方が74%で最も多く、次いで「社会福

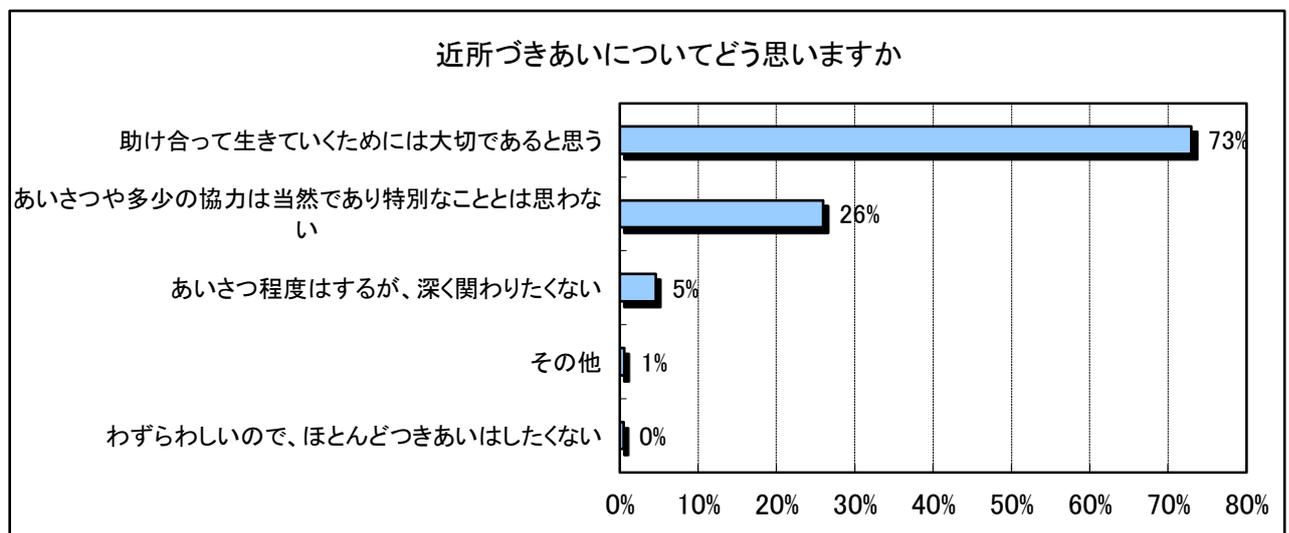
社協議会」が72%となっています。地域福祉の担い手である「地域住民」と回答した方は54%で3番目に挙がっています。
年齢別では、20歳・70歳・80歳代で「社会福祉協議会」と回答した方が最も多くなっています。

5

地域活動(福祉)に対するお考えをお聞きします

問5 あなたは近所づきあいについてどう思いますか。当てはまるもの1つに○をつけて下さい。

助け合って生きていくためには大切であると思う	1,449人
あいさつや多少の協力は当然であり、特別なこととは思わない	515人
あいさつ程度はするが、深く関わりたくない	92人
わずらわしいので、ほとんどつきあいはしたくない	9人
その他	12人



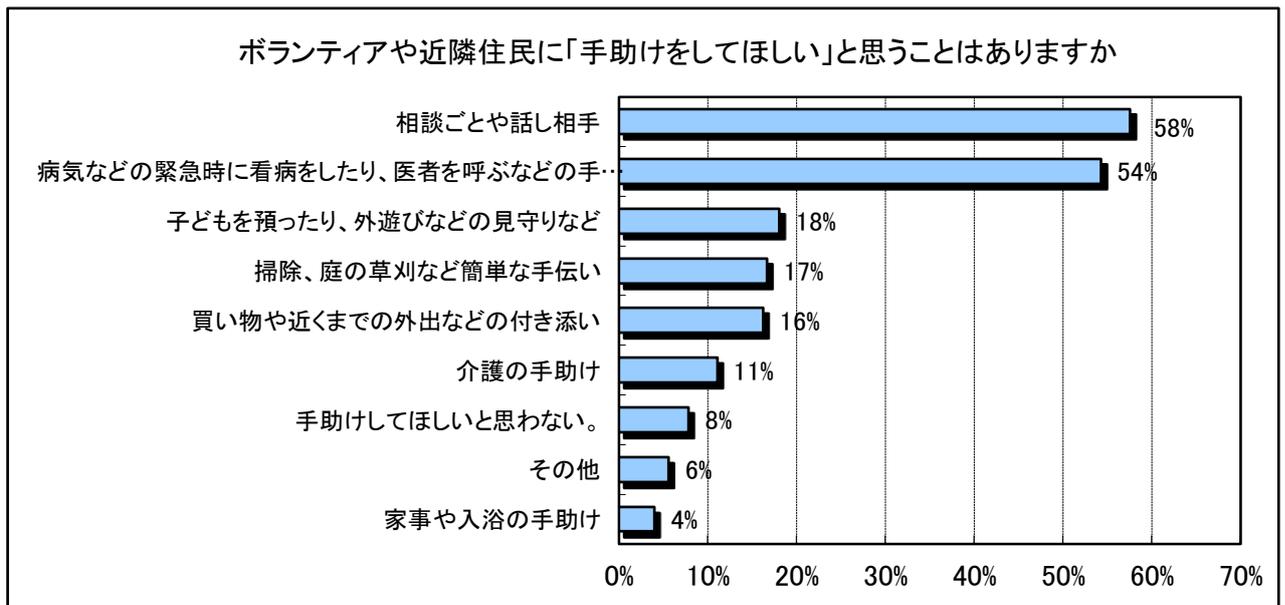
コメント

「助け合って生きていくためには大切であると思う」と回答した方が73%、「あいさつや多少の協力は当然であり特別なこととは思わない」と回答した方が26%で、9割以上の方が近所づきあいの必要性を感じておられるようです。

6

問6 今後、近所づきあいの中で、ボランティアや近隣住民に「手助けをしてほしい」ということは、ありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

相談ごとや話し相手	1,075人
買い物や近くまでの外出などの付き添い	304人
子どもを預ったり、外遊びなどの見守りなど	338人
掃除、庭の草刈など簡単な手伝い	312人
病気などの緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け	1,014人
家事や入浴の手助け	75人
介護の手助け	207人
手助けしてほしいと思わない。	147人
その他	105人

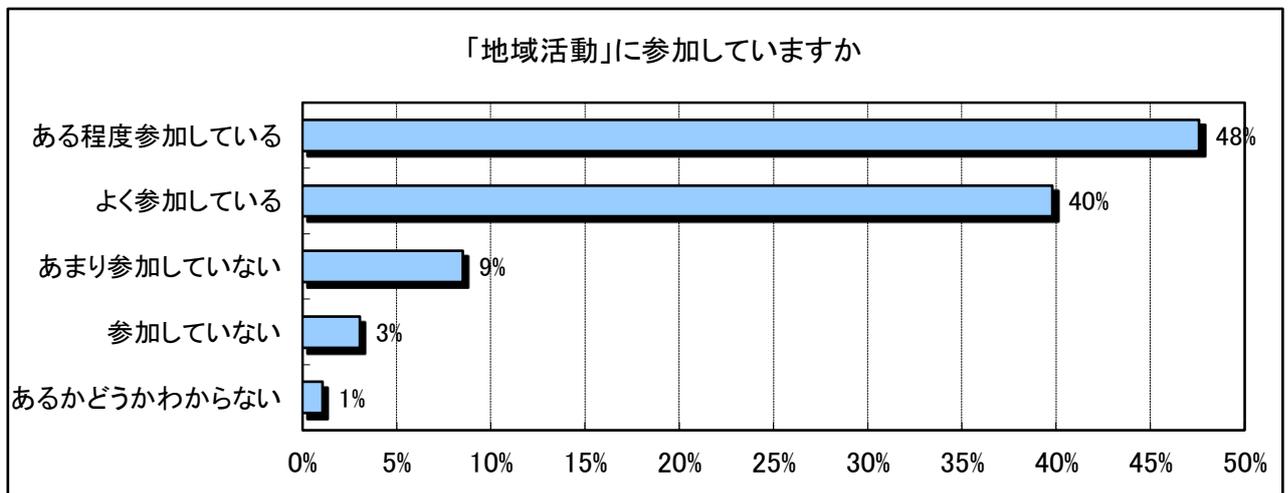


コメント

「相談ごとや話し相手」と回答した方が58%で最も多く、次いで「病気などの緊急時に看病したり、医者を呼ぶなどの手助け」が54%で、際立って高い数字が挙がっており、日頃の生活面の悩みや不安を感じておられる方が多く見うけられます。

問7 あなたは地域の行事や町内会・自治会・コミュニティ活動・子ども会などの「地域活動」に参加していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

よく参加している	785人
ある程度参加している	939人
あまり参加していない	168人
参加していない	60人
あるかどうかわからない	21人



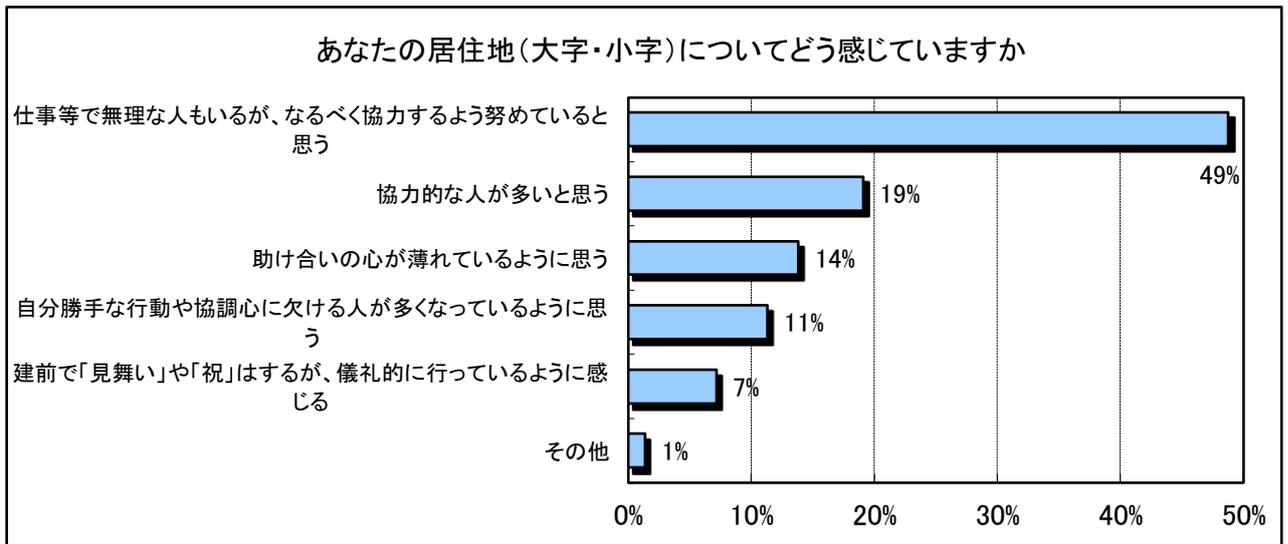
コメント

「ある程度参加している」が48%、「よく参加している」が40%で、概ね9割の方が地域活動に参加されており、近隣関係の深さがうかがわれます。

また、「あまり参加していない」、「参加していない」方を合わせると1割程度となっています。

問8 あなたは、あなたの居住地（大字・小字）についてどう感じていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

協力的な人が多いと思う	370人
仕事等で無理な人もいるが、なるべく協力するよう努めていると思う	945人
助け合いの心が薄れているように思う	268人
自分勝手な行動や協調心に欠ける人が多くなっているように思う	219人
建前で「見舞い」や「祝」はするが、儀礼的に行っているように感じる	139人
その他	27人



年齢別構成

	協力するよう努めている	協力的な人が多い	助け合いの心が薄れている	協調性に欠ける人が多い	儀礼的になっている	その他
全体	49%	19%	14%	11%	7%	1%
20歳未満	66%	16%	16%	—	—	—
20歳代	25%	46%	7%	3%	3%	10%
30歳代	49%	20%	8%	9%	6%	3%
40歳代	53%	16%	8%	8%	9%	3%
50歳代	50%	17%	14%	9%	5%	1%
60歳代	52%	12%	12%	14%	7%	1%
70歳代	42%	18%	17%	11%	6%	1%
80歳代	36%	27%	12%	11%	6%	—

コメント

「仕事等で無理な人もいるが、なるべく協力するよう努めていると思う」と回答した方が49%で約半数を占めており、地域に対して協力的な考えを持った方が多く見うけられます。

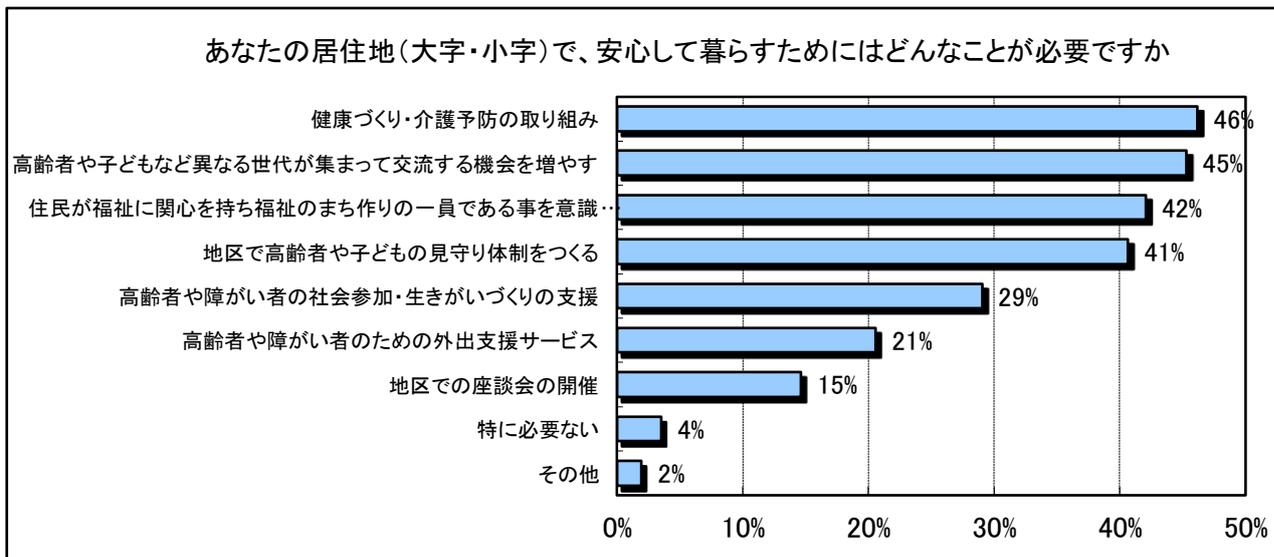
一方で「助け合いの心が薄れているように思う」、「自分勝手な行動や協調性に欠ける人が多くなっているように思う」、「建前で見舞いや祝いはするが、儀礼的に行っているように感じる」といった地域に対してやや否定的な感想を持っておられる方は、合わせると3割以上あります。

年齢別は、20歳代の「協力的な人が多い」を除き、どの年代も同様の回答になっています。

9

問9 あなたの居住地(大字・小字)で安心して暮らすためには、どんなことが必要だと思いますか。主なもの3つまで○をつけてください。

高齢者や子どもなど異なる世代が集まって交流する機会を増やす	867人
地区で高齢者や子どもの見守り体制をつくる	778人
高齢者や障がい者のための外出支援サービス	394人
高齢者や障がい者の社会参加・生きがいづくりの支援	556人
健康づくり・介護予防の取り組み	884人
地区での座談会の開催	280人
住民が福祉に関心を持ち福祉のまちづくりの一員であることを意識する	805人
特に必要ない	67人
その他	37人



年齢別構成

	健康づくり 介護予防	交流する 機会を 増やす	福祉に 関心を持つ	見守り体制	社会参加・ 生きがい づくりの支援	外出支援 サービス
全体	46%	45%	42%	41%	29%	21%
20歳未満	33%	66%	16%	33%	0%	0%
20歳代	7%	26%	11%	26%	11%	3%
30歳代	19%	41%	27%	50%	22%	13%
40歳代	31%	39%	39%	49%	24%	16%
50歳代	47%	43%	45%	41%	28%	21%
60歳代	52%	48%	51%	38%	36%	16%

70歳代	56%	42%	42%	32%	27%	23%
80歳代	54%	42%	40%	24%	27%	25%

コメント

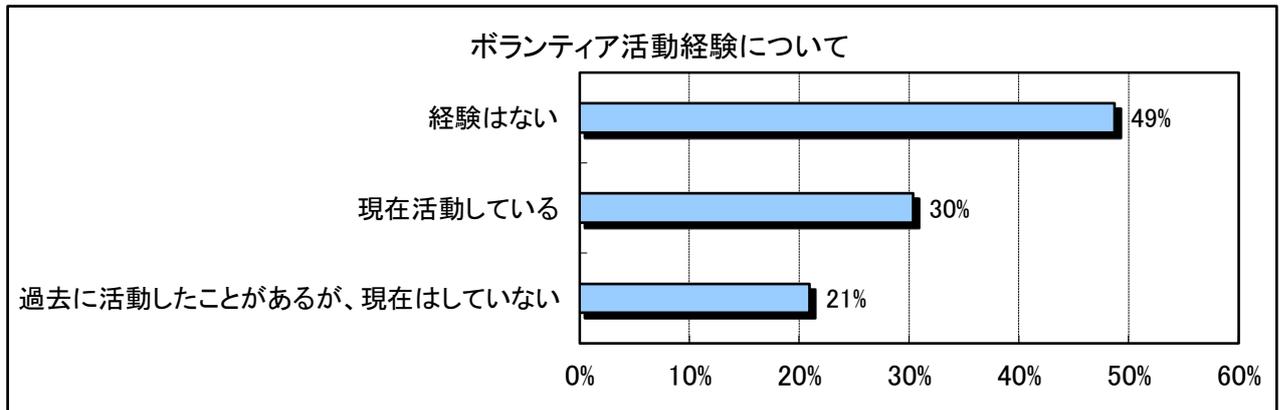
「健康づくり・介護予防の取組み」と回答した方が46%で最も多く、次いで「高齢者や子どもなど異なる世代が集まって交流する機会を増やす」、「住民が福祉に関心を持ち福祉のまちづくりの一員である事を意識する」、「地区で高齢者や子どもの見守り体制をつくる」がほぼ同数となっています。年齢別では、世代によってバラつきがあり、生活に関わる関心事や課題が見うけられます。

10

「ボランティア活動」についてお聞きします

問10 あなたのボランティア活動経験についてお答えください。

現在活動している	568人
過去に活動したことがあるが、現在はしていない	392人
経験はない	911人



年齢別構成

	活動経験がある		
	現在活動している	過去に活動したことがあるが、現在はしていない	活動したことがない
全体	30%	21%	49%
20歳未満			
20歳代	10%	18%	61%
30歳代	13%	18%	68%
40歳代	21%	20%	57%
50歳代	40%	16%	42%
60歳代	45%	15%	35%
70歳代	34%	21%	35%
80歳代	14%	29%	41%

コメント

「経験はない」と回答した方が49%と最も多く、「現在活動している」が30%、「過去に活動したことがあるが、現在はしていない」が21%と、経験の有無に関わらず、ボランティア活動に関心がある方が71%と過半数を占めています。

「経験はない」と回答した方が49%で最も多く、「現在活動している」が30%、「過去に活動したことがあるが、現在はしていない」が21%で、51%の方がボランティア活動の経験が”ある”と回答されています。

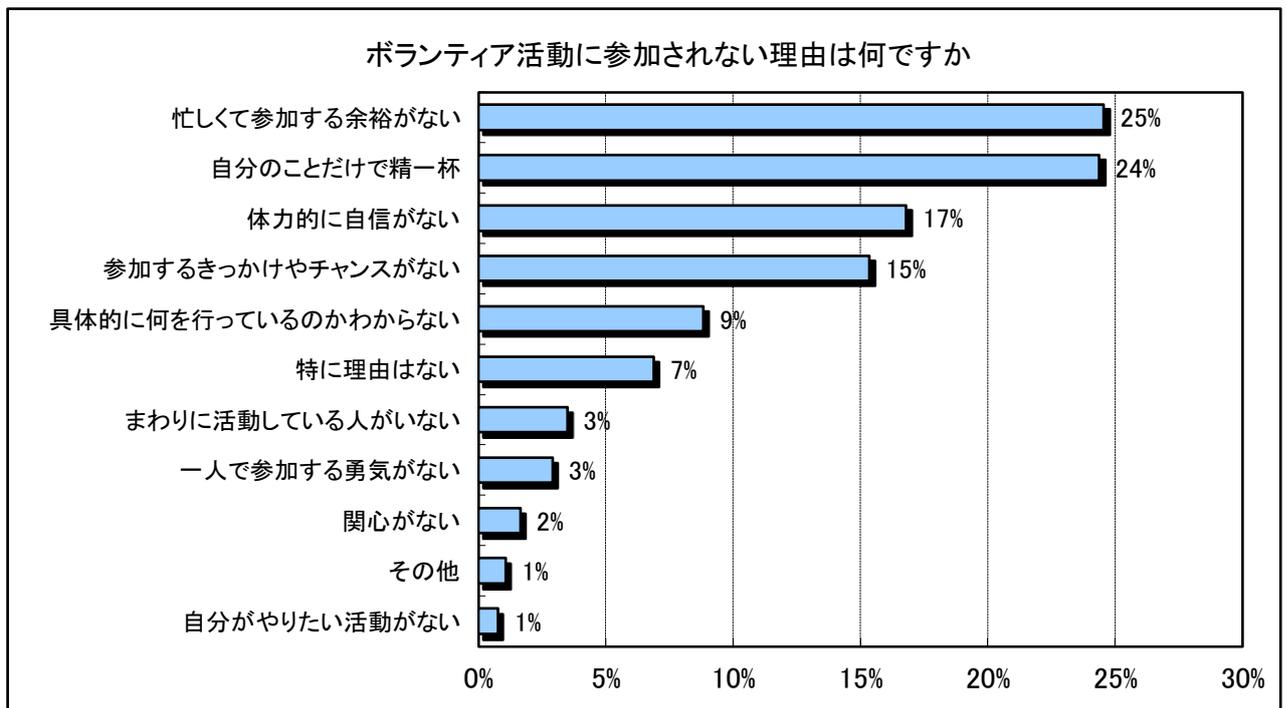
年齢別では、60歳代で「現在活動している」と回答した方が45%で最も多く、その他50歳代で40%、70歳代で34%の方が現在活動中と回答されています。

一方で20歳代と30歳代の方で「現在活動している」と回答した方の割合が特に低くなっています。

11

問11 「経験はない」と答えた方にお聞きします。ボランティア活動に参加されない理由は何ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

自分のことだけで精一杯	251人	忙しくて参加する余裕がない	253人
体力的に自信がない	173人	一人で参加する勇気がない	30人
参加するきっかけやチャンスがない	158人	自分がやりたい活動がない	8人
まわりに活動している人がいない	36人	具体的に何を行っているかわからない	91人
関心がない	17人	特に理由はない	71人
その他	11人		



コメント

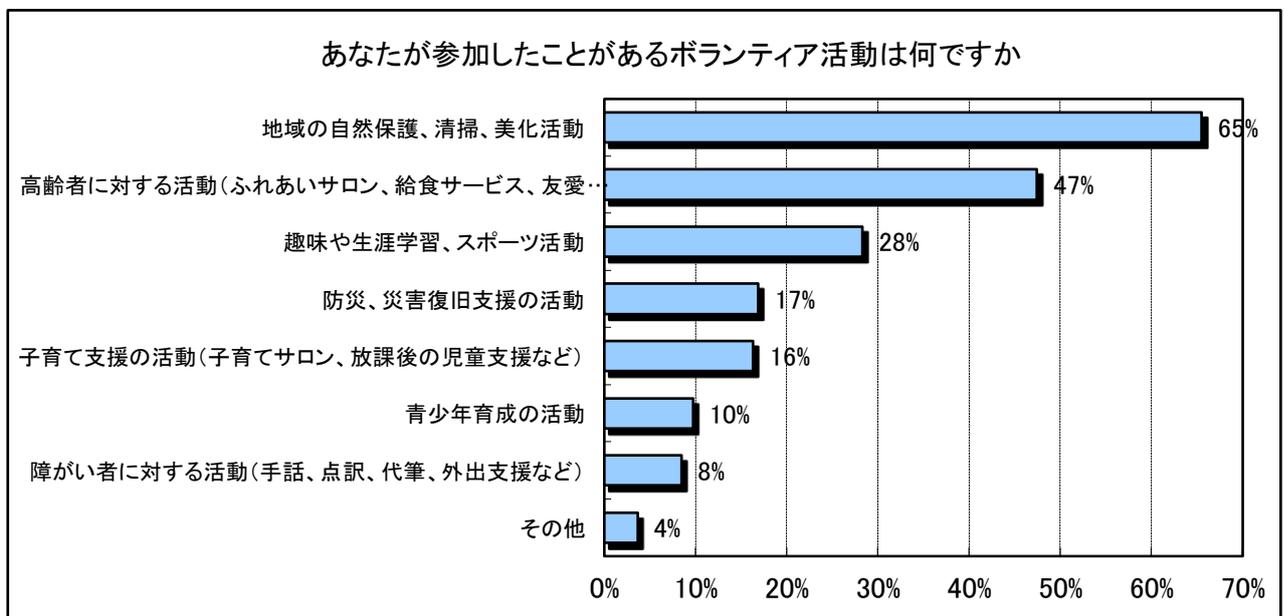
ボランティア活動に参加できない理由として、「忙しくて参加する余裕がない」と回答した方が25%で最も多く、次いで「自分のことだけで精一杯」が24%でほぼ同数となっており、約5割の方が時間的な余裕のなさを理由に挙げておられます。

仕事をしており、時間的な制約あって忙しい人でも、地域の中でちょっとしたボランティア活動に参加できるような、仕組みづくりが求められます。

12

問12 あなたが現在参加している、または過去に参加したことがあるボランティア活動の主なもの3つまで○をつけてください。

高齢者に対する活動（ふれあいサロン、給食サービス、友愛訪問など）	610人
障がい者に対する活動（手話、点訳、代筆、外出支援など）	109人
子育て支援の活動（子育てサロン、放課後の児童支援など）	210人
地域の自然保護、清掃、美化活動	842人
防災、災害復旧支援の活動	217人
趣味や生涯学習、スポーツ活動	364人
青少年育成の活動	125人
その他	47人

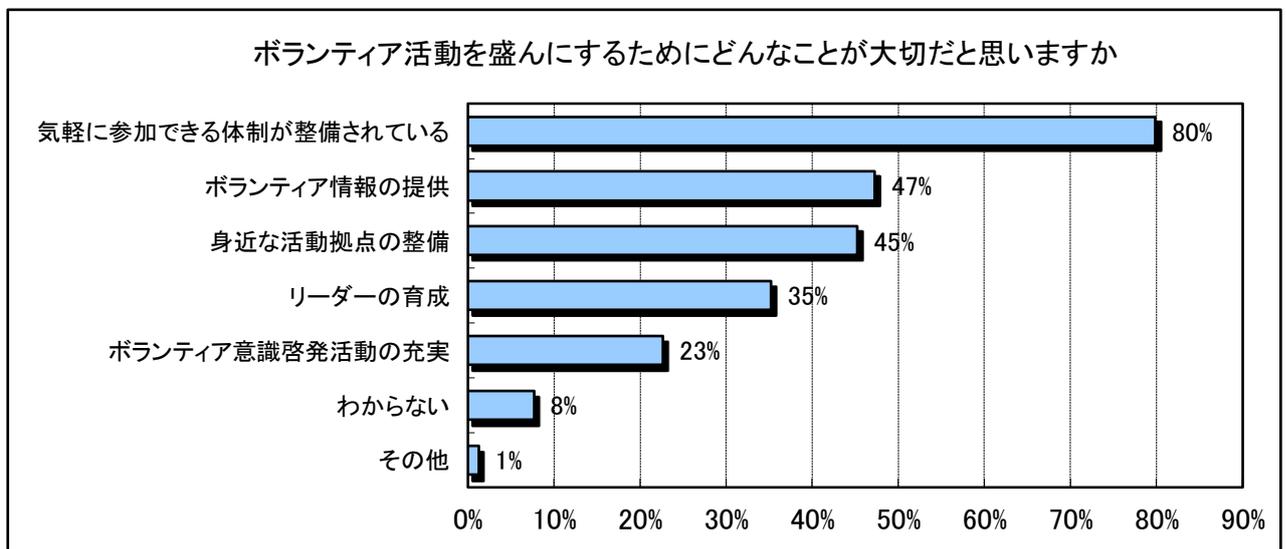


コメント

「地域の自然保護、清掃、美化活動」と回答した方が65%で最も多く、次いで「高齢者に対する活動（ふれあいサロン・給食サービス・友愛訪問）」が47%で、居住地における地域活動をボランティア活動として挙げている方が多く見うけられます。

問13 ボランティア活動を盛んにするためにどんなことが大切だと思いますか。主なもの3つまで○をつけてください。

気軽に参加できる体制が整備されている	1,444人
身近な活動拠点の整備	818人
ボランティア情報の提供	855人
ボランティア意識啓発活動の充実	410人
リーダーの育成	637人
わからない	139人
その他	23人



年齢別構成

	体制整備	情報の提供	活動拠点の整備	リーダーの育成	啓発活動の充実	わからない
全体	80%	47%	45%	35%	23%	8%
20歳未満	66%	66%	33%	—	—	—
20歳代	41%	31%	13%	6%	4%	3%
30歳代	74%	63%	36%	18%	11%	8%

40歳代	73%	52%	43%	23%	16%	7%
50歳代	81%	42%	47%	35%	25%	5%
60歳代	74%	41%	44%	35%	25%	5%
70歳代	70%	34%	41%	38%	23%	6%
80歳代	63%	28%	40%	38%	20%	7%

コメント

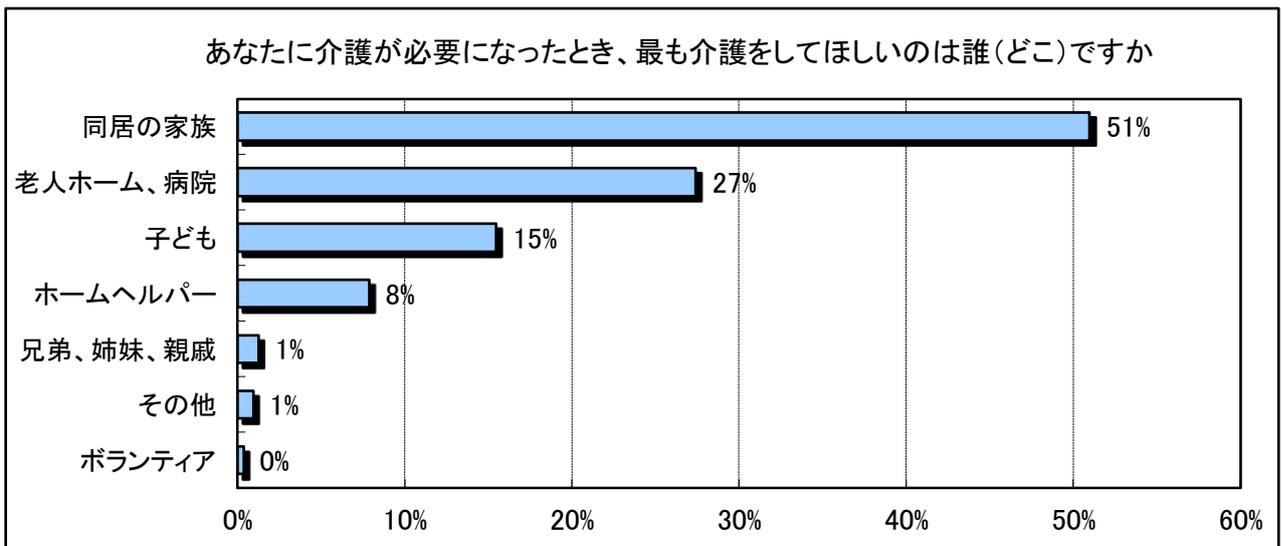
「気軽に参加できる体制が整備されている」と回答した方が80%で最も多く、際立って高い数字が挙がっています。次いで「ボランティア情報の提供」が47%、「身近な活動拠点の整備」が45%となっており、身近な地域でちょっとしたボランティア活動が気軽にできる仕組みづくりや情報提供、体験機会の提供が必要とされていることがうかがわれます。

年齢別も、「気軽に参加できる体制が整備されている」が、すべての年齢層で最も多い回答が寄せられています。

「高齢者」についてお聞きします

問14 あなたに介護が必要になったとき、最も介護をしてほしいのは誰（どこ）ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

同居の家族	965人
子ども	293人
兄弟、姉妹、親戚	24人
老人ホーム、病院	519人
ホームヘルパー	149人
ボランティア	7人
その他	18人



コメント

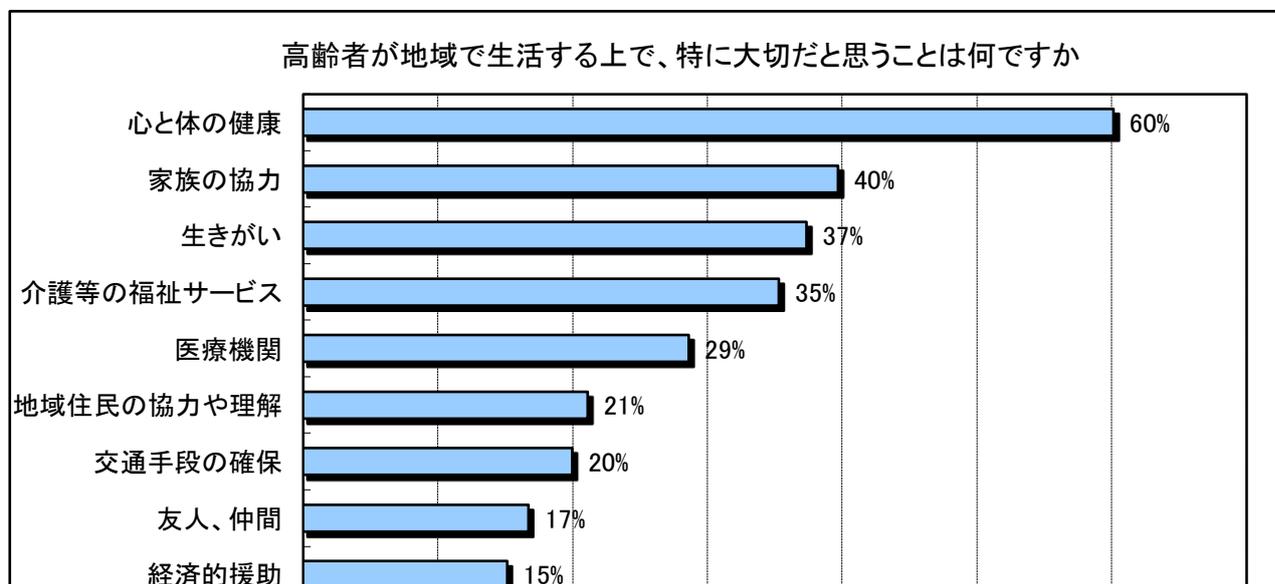
「同居の家族」と回答した方が51%で最も多く、その他「子ども」が15%、「兄弟、姉妹、親戚」が1%で近親者が約7割を占めており、在宅介護の意向もうかがわれます。

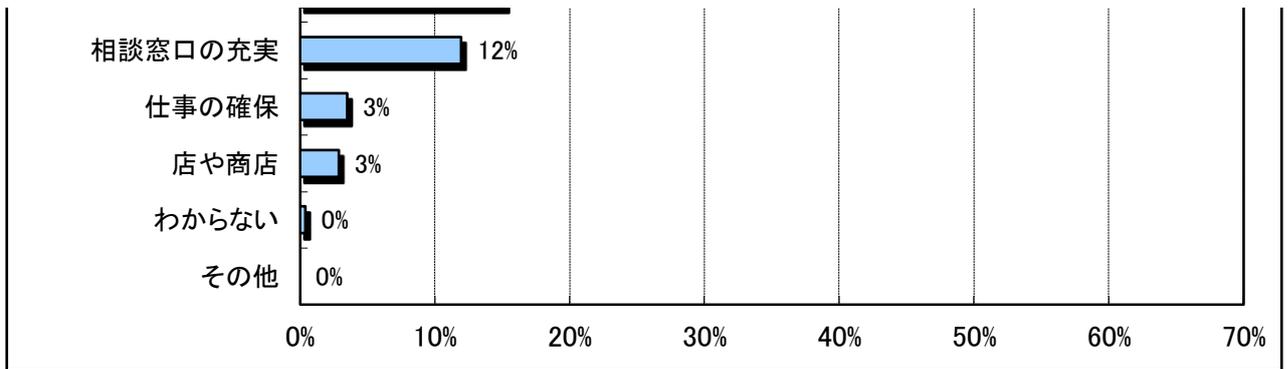
また「老人ホーム、病院」といった施設を希望される方は27%の方が回答されています。

15

問15 高齢者が地域で生活する上で、特に大切だと思うことは何ですか。主なもの3つまで○をつけてください。

心と体の健康	1,156人
生きがい	718人
介護等の福祉サービス	679人
相談窓口の充実	230人
家族の協力	763人
仕事の確保	67人
地域住民の協力や理解	406人
友人、仲間	322人
経済的援助	291人
医療機関	550人
交通手段の確保	384人
店や商店	55人
わからない	8人
その他	人





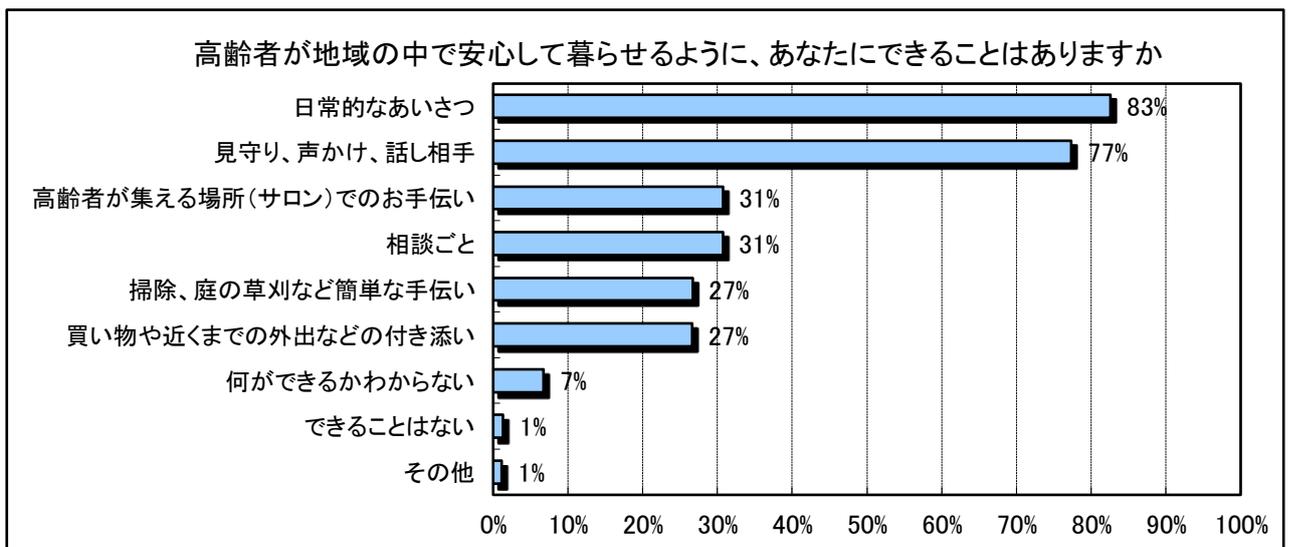
コメント

「心と体の健康」と回答した方が60%で最も多く、次いで「家族の協力」、「生きがい」、「介護等の福祉サービス」の順となっており、自分自身の健康面の大切さを最優先に考えておられることがうかがわれます。

16

問16 次の項目の中で、高齢者が地域の中で安心して暮らせるように、あなたにできることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

日常的なあいさつ	1,544人
見守り、声かけ、話し相手	1,446人
相談ごと	574人
買い物や近くまでの外出などの付き添い	498人
掃除、庭の草刈など簡単な手伝い	499人
高齢者が集える場所（サロン）でのお手伝い	575人
何ができるかわからない	126人
できることはない	25人
その他	21人



年齢別構成

	日常的なあいさつ	見守り声かけ話し相手	サロンでのお手伝い	相談ごと	掃除、庭の草刈など	買い物、外出の付き添い
全体	83%	77%	31%	31%	27%	27%

年代	00/0	11/0	21/0	31/0	41/0	51/0
20歳未満	66%	100%	16%			
20歳代	33%	29%	8%	3%	5%	12%
30歳代	79%	66%	12%	16%	13%	18%
40歳代	76%	67%	19%	17%	20%	21%
50歳代	74%	79%	32%	28%	29%	36%
60歳代	79%	76%	40%	31%	30%	32%
70歳代	78%	74%	34%	38%	27%	24%
80歳代	77%	69%	30%	38%	27%	15%

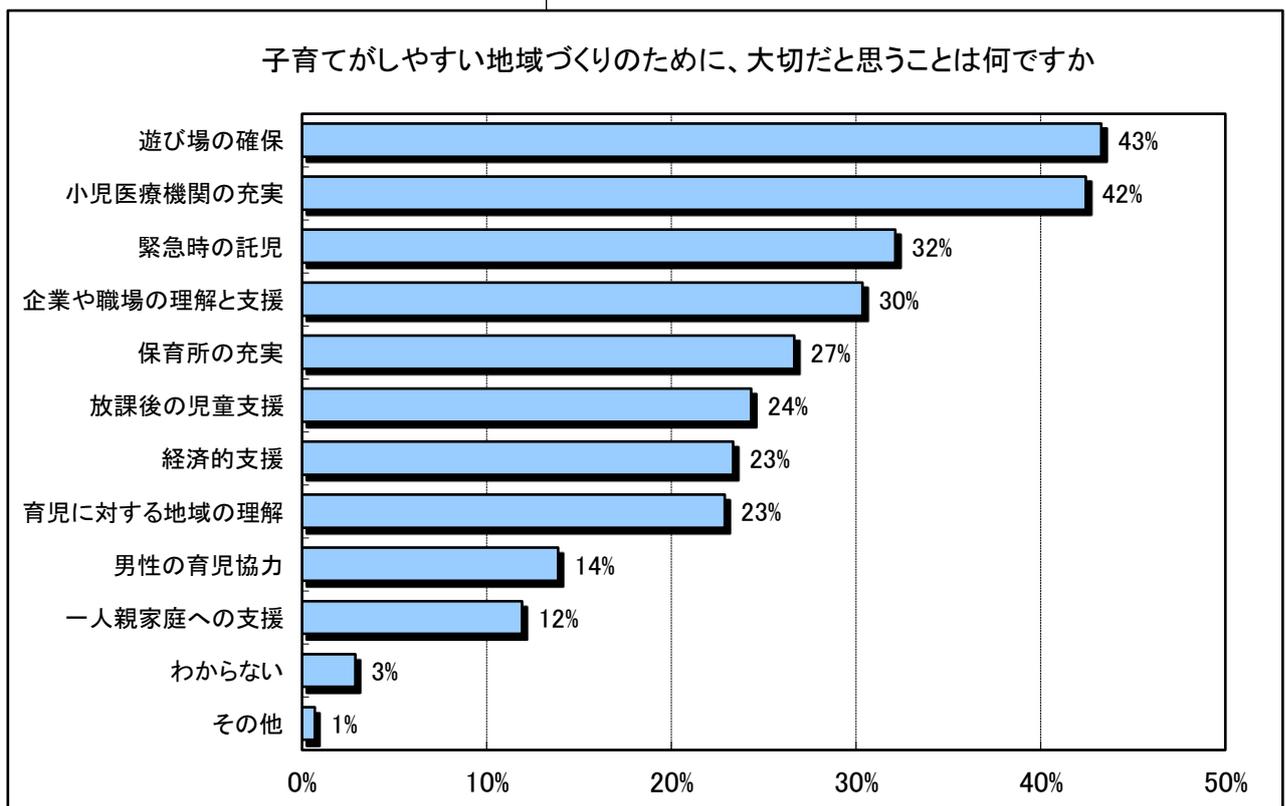
コメント

「日常的なあいさつ」と回答した方が83%で最も多く、次いで「見守り、声かけ、話し相手」が77%で際立った数字が挙がっており、あいさつ・声かけ・安否確認といった日常的な支援活動が、市民レベルで取組めるよう、浸透させることが必要ではないかと思われます。
年齢別では、20歳未満と50歳代の方が「見守り、声かけ、話し相手」が最も多い回答になっています。

「子育て」についてお聞きします

問17 子育てがしやすい地域づくりのために、大切だと思うことを主なもの3つまで○をつけてください。

遊び場の確保	749人	緊急時の託児	556人	経済的支援	404人
放課後の児童支援	421人	保育所の充実	461人	育児に対する地域の理解	396人
一人親家庭への支援	206人	男性の育児協力	240人	小児医療機関の充実	734人
企業や職場の理解支援	525人	わからない	50人	その他	12人



コメント

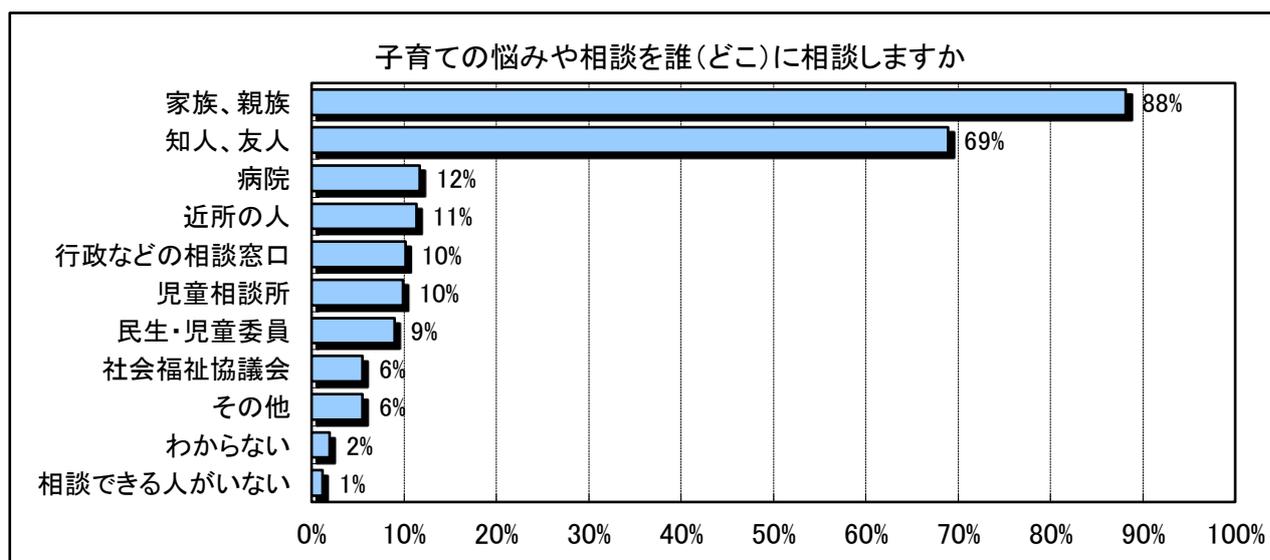
最も多い回答として、「遊び場の確保」が43%、次いで「小児医療機関の充実」が42%あり、ほぼ同数の回答が寄せられました。

18

※問18から問20までは、現在子育て中（高校生まで）の保護者の方にお聞きします。

問18 あなたは、子育ての悩みや相談を誰（どこ）に相談しますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

家族、親族	669人	知人、友人	523人	近所の人	86人
社会福祉協議会	42人	民生・児童委員	68人	病院	89人
行政などの相談窓口	77人	児童相談所	75人	相談できる人がいない	9人
わからない	15人	その他	42人		

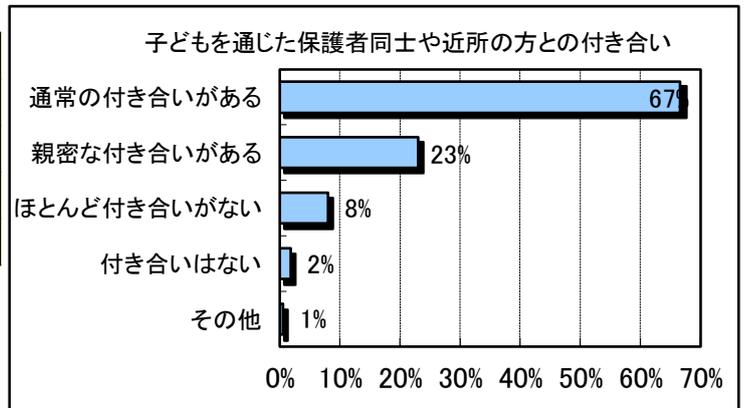


コメント

「家族、親族」と回答した方が88%で最も多く、ほぼ9割を占めています。次いで「知人、友人」が69%で多く、近親者・知人、友人への相談がほとんどを占めており、第三者への相談はいずれも10%前後にとどまっています。

問19 子どもを通じて保護者同士や近隣の方と付き合いはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

親密な付き合いがある	167人
通常の付き合いがある	483人
ほとんど付き合いがない	58人
付き合いはない	13人
その他	4人



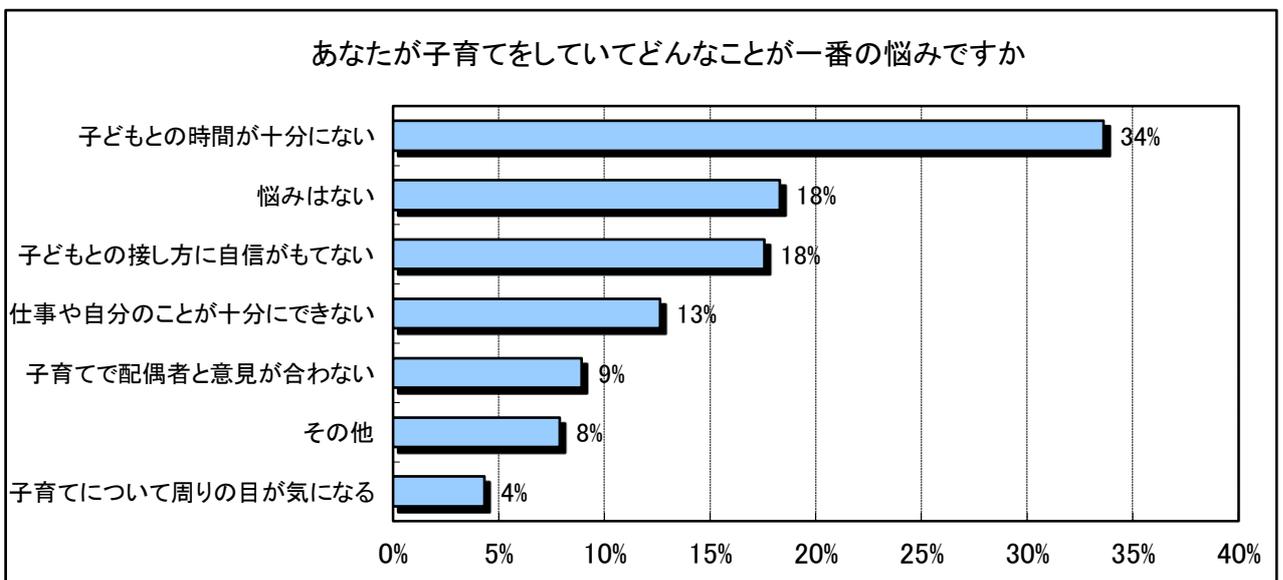
コメント

「通常の付き合いがある」と回答した方が67%で最も多く、次いで「親密な付き合いがある」が23%あり、合わせて約9割の方が子どもを通じて保護者同士や近隣の方との付き合いをされているようです。

19

問20 あなたが子育てをされていてどんなことが一番の悩みですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

子どもとの時間が十分でない	226人
子どもとの接し方に自信がもてない	118人
子育てで配偶者と意見が合わない	60人
仕事や自分のことが十分にできない	85人
子育てについて周りの目が気になる	29人
悩みはない	123人
その他	53人



コメント

「子どもとの時間が十分でない」と回答した方が34%で最も多く、次いで「悩みはない」が18%あり、

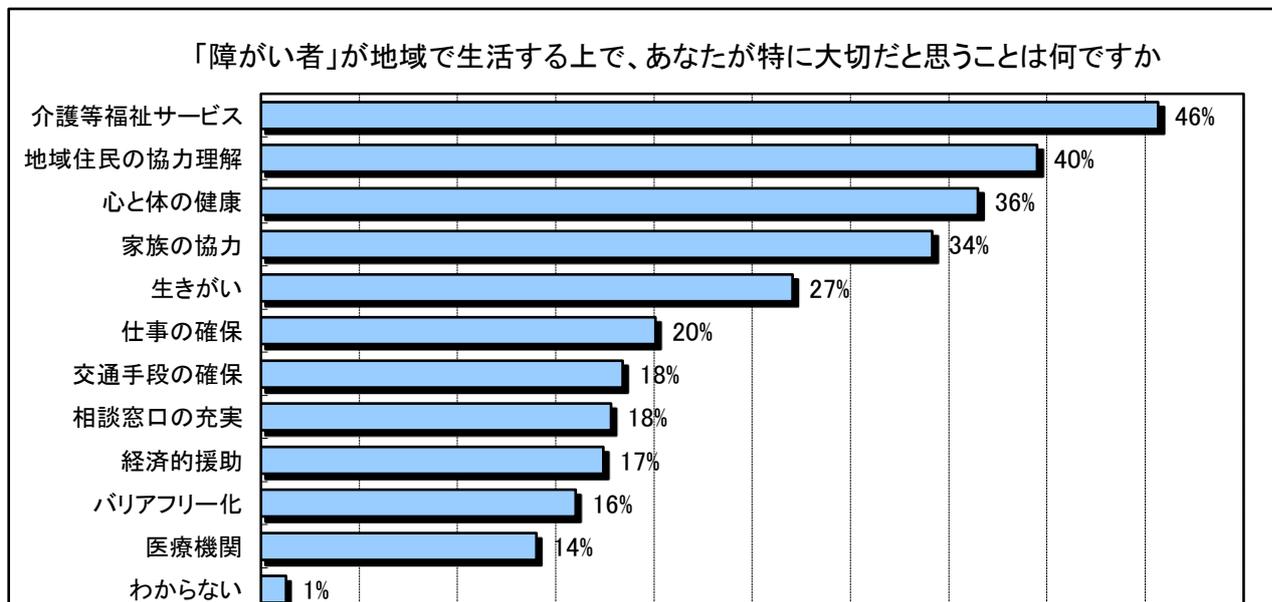
「子どもとの時間が十分でない」と回答された方が34%で最も多く、仕事や家事に追われ子育てになかなか時間がもてない保護者の実態が見うけられます。

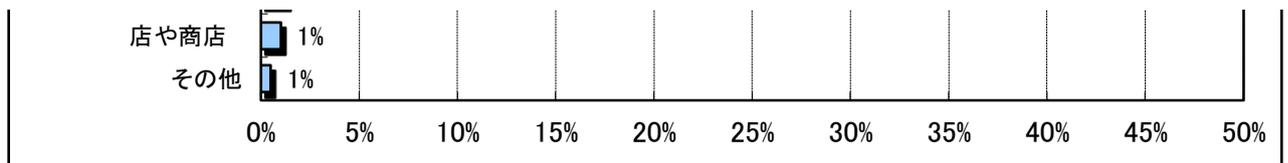
また、子育てに関する精神的な悩みを挙げた方が約3割あり、「子どもの接し方に自信がもてない」が18%、「子育てで配偶者と意見が合わない」が9%、「子育てについて周りの目が気になる」が4%ありました。

「障がい者」についてお聞きします

問21 「障がい者」が地域で生活する上で、あなたが特に大切だと思うことは何ですか。主なもの3つまで○をつけてください。

心と体の健康	654人	生きがい	485人	介護等福祉サービス	818人
相談窓口の充実	319人	家族の協力	612人	仕事の確保	360人
地域住民の協理解解	708人	バリアフリー化	287人	経済的援助	312人
医療機関	251人	交通手段の確保	330人	店や商店	18人
わからない	23人	その他	9人		





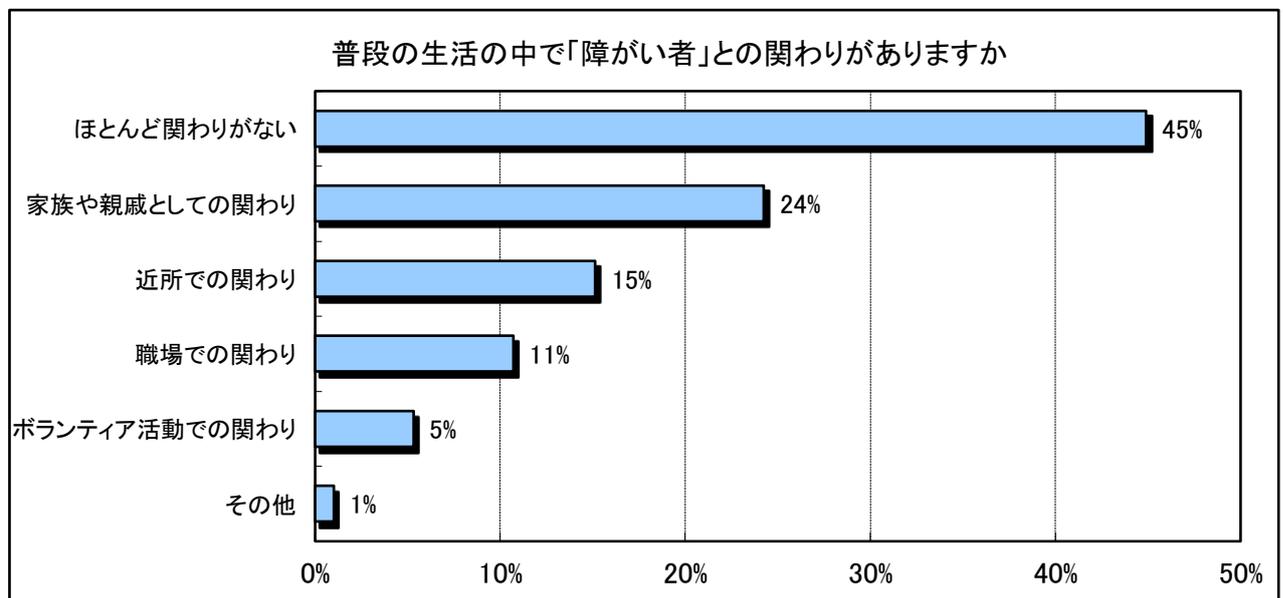
コメント

「介護等福祉サービス」と回答した方が46%で最も多く、次いで「地域住民の協力理解」が40%、「心と体の健康」が36%、「家族の協力」が34%となっています。

21

問22 あなたは、普段の生活の中で「障がい者」との関わりがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

家族や親戚としての関わり	410人
近所での関わり	256人
職場での関わり	181人
ボランティア活動での関わり	90人
ほとんど関わりがない	759人
その他	17人



コメント

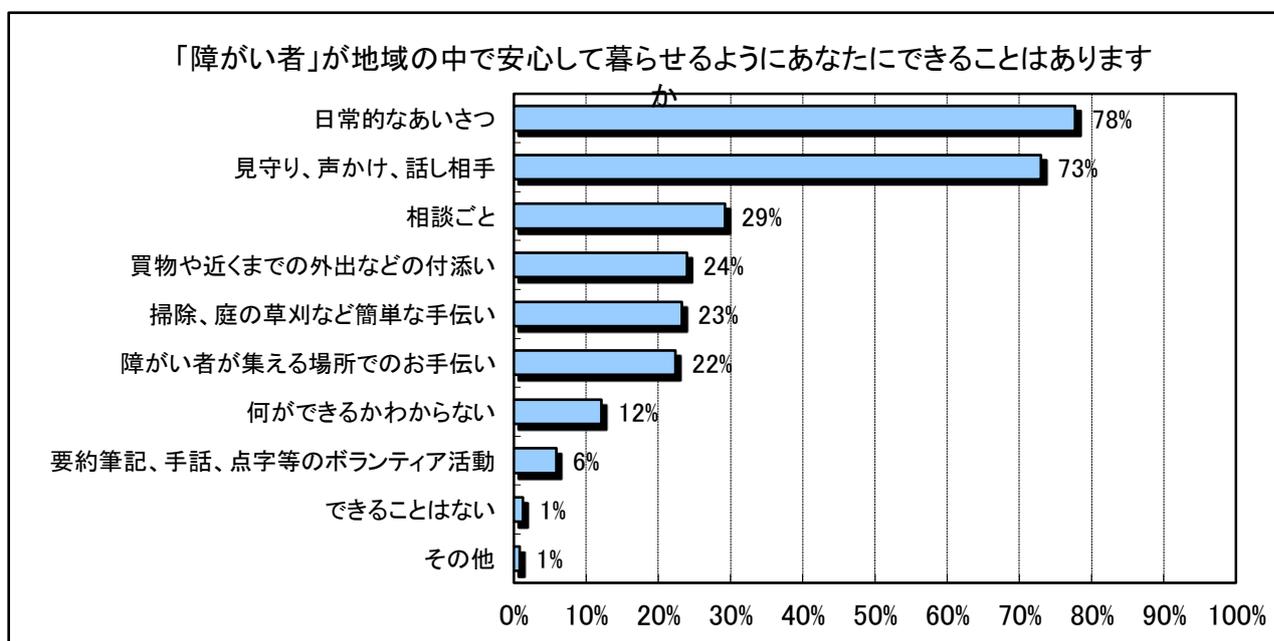
問22で「障がい者」が地域で生活する上で大切だと思うことで、「地域住民の理解と協力」と回答した方が40%ありましたが、普段の生活の中では、「ほとんど関わりがない」と回答した方が約半数の45%で最も多くなっています。

家族や親戚としての関わりを除き、「近所での関わり」と回答した方が15%にとどまっており、今後、地域の中で障がい者との関わりを持てる機会を設けていくことで、「地域住民の理解と協力」が地域に浸透していくのではないかと考えられます。

22

問23 次の項目の中で、「障がい者」が地域の中で安心して暮らせるように、あなたにできることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

日常的なあいさつ	1,395人	見守り、声かけ、話し相手	1,310人
相談ごと	525人	買物や近くまでの外出などの付添い	430人
掃除、庭の草刈など簡単な手伝い	417人	障がい者が集える場所でのお手伝い	402人
要約筆記、手話、点字等のボランティア活動	106人	何ができるかわからない	218人
できることはない	23人	その他	15人



年齢別構成

	日常的なあいさつ	見守り声かけ話し相手	相談ごと	買い物、外出の付き添い	掃除、庭の草刈など	障がい者が集える場所のお手伝い
全体	78%	73%	29%	24%	23%	22%
20歳未満	50%	66%	16%			16%
20歳代	30%	29%	4%	9%	9%	11%
30歳代	68%	59%	14%	16%	9%	16%
40歳代	75%	62%	15%	16%	13%	16%
50歳代	74%	72%	29%	34%	27%	26%
60歳代	73%	70%	26%	25%	28%	26%
70歳代	67%	68%	33%	22%	24%	22%
80歳代	68%	62%	37%	17%	21%	13%

コメント

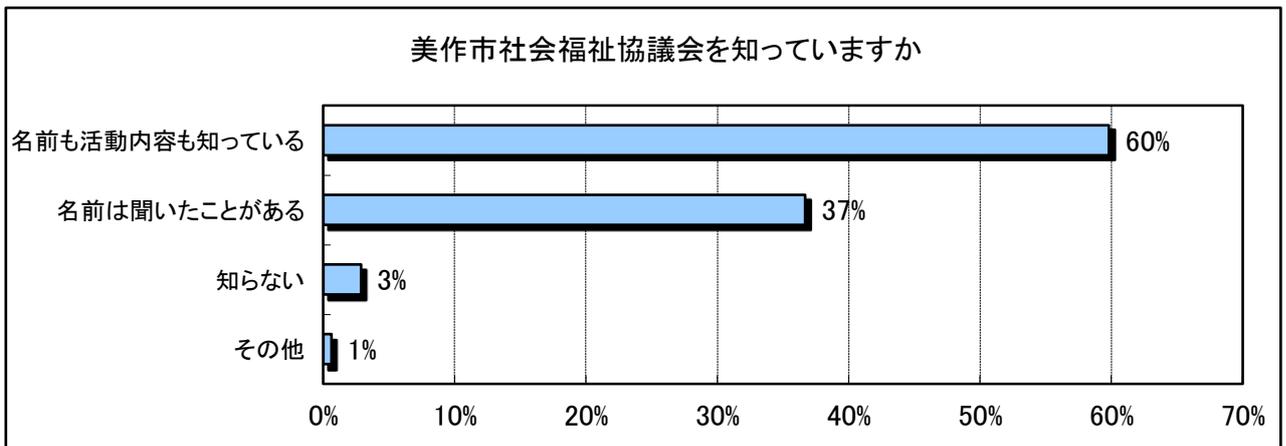
「高齢者」についてお聞きしますの問16と同様の回答が寄せられています。
 「日常的なあいさつ」と回答した方が78%で最も多く、次いで「見守り、声かけ、話し相手」が73%で際立った数字が挙がっており、あいさつ・声かけ・安否確認といった日常的な支援活動が、市民レベルで取組めるよう、浸透させることが必要ではないかと思われます。
 年齢別においても、ほぼ同様の回答内容になっています。

23

「社会福祉協議会」についてお聞きします

問24 あなたは美作市社会福祉協議会を知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

名前も活動内容も知っている	1,104人
名前は聞いたことがある	677人
知らない	53人
その他	11人



年齢別構成

--	--	--	--

	名前も活動 内容も知っ ている	名前は 聞いた ことがある	知らない
全体	60%	37%	3%

20歳未満	—	83%	—
20歳代	17%	64%	17%
30歳代	38%	55%	4%
40歳代	43%	51%	3%
50歳代	61%	33%	2%
60歳代	68%	26%	1%
70歳代	62%	23%	2%
80歳代	66%	17%	1%

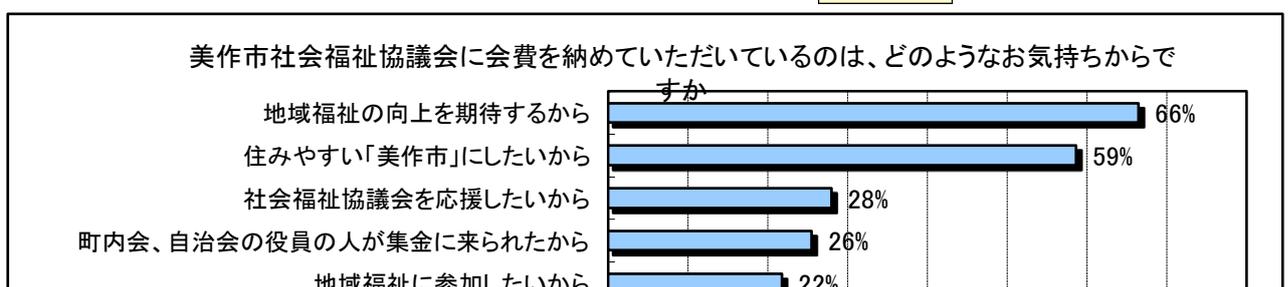
コメント

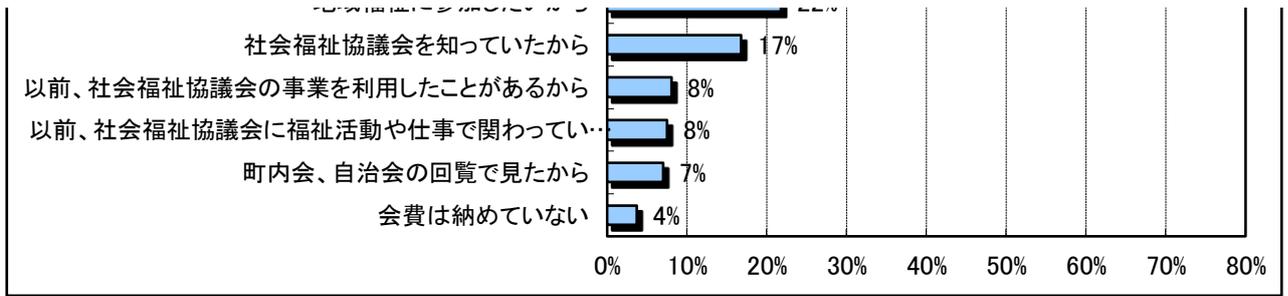
「名前も活動内容も知っている」と回答した方が60%で最も多く、次いで「名前は聞いたことがある」が37%で、9割以上の方が社会福祉協議会を認知していただいているようです。
年齢別では、50歳代以上の方が「名前も活動内容も知っている」と回答した方が最も多く、40歳代以下の方は「名前は聞いたことがある」と回答した方が最も多くなっており、50歳台以上の方の社会福祉協議会への認知度の高さが見うけられます。

24

問25 あなた(あなたの世帯)が、美作市社会福祉協議会に会費を納めていただいているのは、どのようなお気持ちからですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

地域福祉の向上を期待するから	1,190人
地域福祉に参加したいから	390人
住みやすい「美作市」にしたいから	1,050人
社会福祉協議会を知っていたから	301人
社会福祉協議会を応援したいから	501人
以前、社会福祉協議会の事業を利用したことがあるから	144人
以前、社会福祉協議会に福祉活動や仕事で関わっていたから	135人
町内会、自治会の回覧で見たから	126人
町内会、自治会の役員の方が集金に来られたから	457人
会費は納めていない	67人
その他	28人





年齢別構成

	地域福祉の向上を期待する	住みやすい「美作市」にしたい	社会福祉協議会を応援したい	役員の方が集金に来られた	地域福祉に参加したい	社会福祉協議会を知っていた
全体	66%	59%	28%	26%	22%	17%
20歳未満	50%	33%	16%	—	—	—
20歳代	25%	25%	2%	13%	6%	2%
30歳代	37%	38%	6%	25%	5%	3%
40歳代	48%	37%	11%	30%	9%	8%
50歳代	65%	59%	19%	27%	17%	12%
60歳代	70%	61%	32%	24%	25%	14%
70歳代	70%	61%	37%	19%	28%	22%
80歳代	74%	66%	42%	21%	32%	30%

コメント

「地域福祉の向上を期待するから」と回答した方が66%で最も多く、次いで「住みやすい美作市にしたいから」が59%あり、2つの回答が際立っています。社協会費の主旨は、概ね住民の方に理解されているのではないかと考えられますが、一方で26%の方が「町内会、自治会の役員の方が集金に来られたから」と回答しておられます。

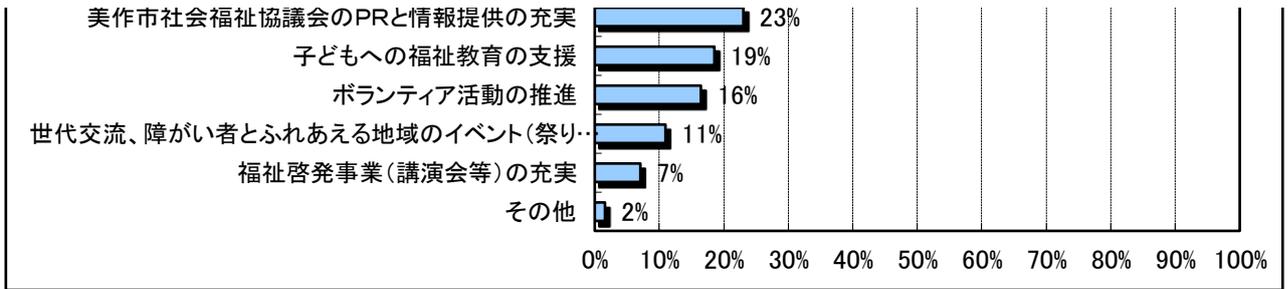
25

問26 あなたは、納めていただいた会費や寄付金がどのように活用されることを期待されますか。主なものを3つまで○をつけてください。

美作市社会福祉協議会のPRと情報提供の充実	410人
高齢者福祉サービスの充実	1,374人
障がい者の福祉サービスの充実	869人
児童福祉（子育て）サービスの充実	723人
ボランティア活動の推進	293人
子どもへの福祉教育の支援	329人
世代交流、障がい者とふれあえる地域のイベント（祭り等）の充実	195人
福祉啓発事業（講演会等）の充実	125人
地域福祉活動への地区還元	501人
その他	28人

収めていただいた会費や寄付金がどのように活用されることを期待されますか





年齢別構成

	高齢者福祉サービスの充実	障がい者福祉サービスの充実	児童福祉サービスの充実	地域福祉活動への地区還元	社協のPRと情報提供の充実	福祉教育への支援
全体	77%	49%	41%	28%	23%	19%
20歳未満	50%	33%	66%		16%	50%
20歳代	18%	15%	27%	7%	6%	10%
30歳代	62%	48%	71%	10%	5%	31%
40歳代	72%	58%	50%	16%	10%	20%
50歳代	70%	51%	34%	34%	19%	13%
60歳代	74%	43%	32%	36%	22%	14%
70歳代	76%	38%	23%	31%	28%	12%
80歳代	74%	38%	17%	25%	39%	11%

コメント

「高齢者福祉サービスの充実」と回答された方が77%で最も多く、次いで「障がい者福祉サービスの充実」が49%、「児童福祉サービスの充実」が41%となっています。会費と寄付金の活用方法については、住民の福祉活動への参加意識を喚起し、できるだけわかりやすく目に見える形で活用できる方法を今後検討していく必要があります。

年齢別では、40歳代以上の方が「高齢者福祉サービスの充実」と回答した方が最も多く、30歳代以下の方は「児童福祉（子育て）サービスの充実」と回答した方が最も多くなっており、世代によって回答内容が2極化しています。

26

問27 福祉のまちづくりのために取り組んでほしいことは何ですか。主なもの3つまで○をつけてください。

外出時（通院・買物等）の交通手段	701人
緊急時の連絡・対応	721人
困りごとを相談する窓口を分かりやすくしてほしい	597人
子育て中の母親・父親の仲間づくりの場がほしい	85人
まちぐるみの健康づくり活動への取り組み	354人
講演会やセミナー等、福祉について学ぶ機会がほしい	157人
ボランティアなど人材育成をしてほしい	217人
地域住民による助け合い制度を作してほしい	356人
学校での福祉教育	245人
食事づくりなど家事を手伝ってくれる人がほしい	54人
介護不安の軽減をしてほしい	336人
医療・保健・福祉の情報を手軽に得たい	424人
世代交流の機会を設けてほしい	78人
座談会など地域で話し合える場がほしい	94人

気軽に立ち寄れる交流の場がほしい

313人

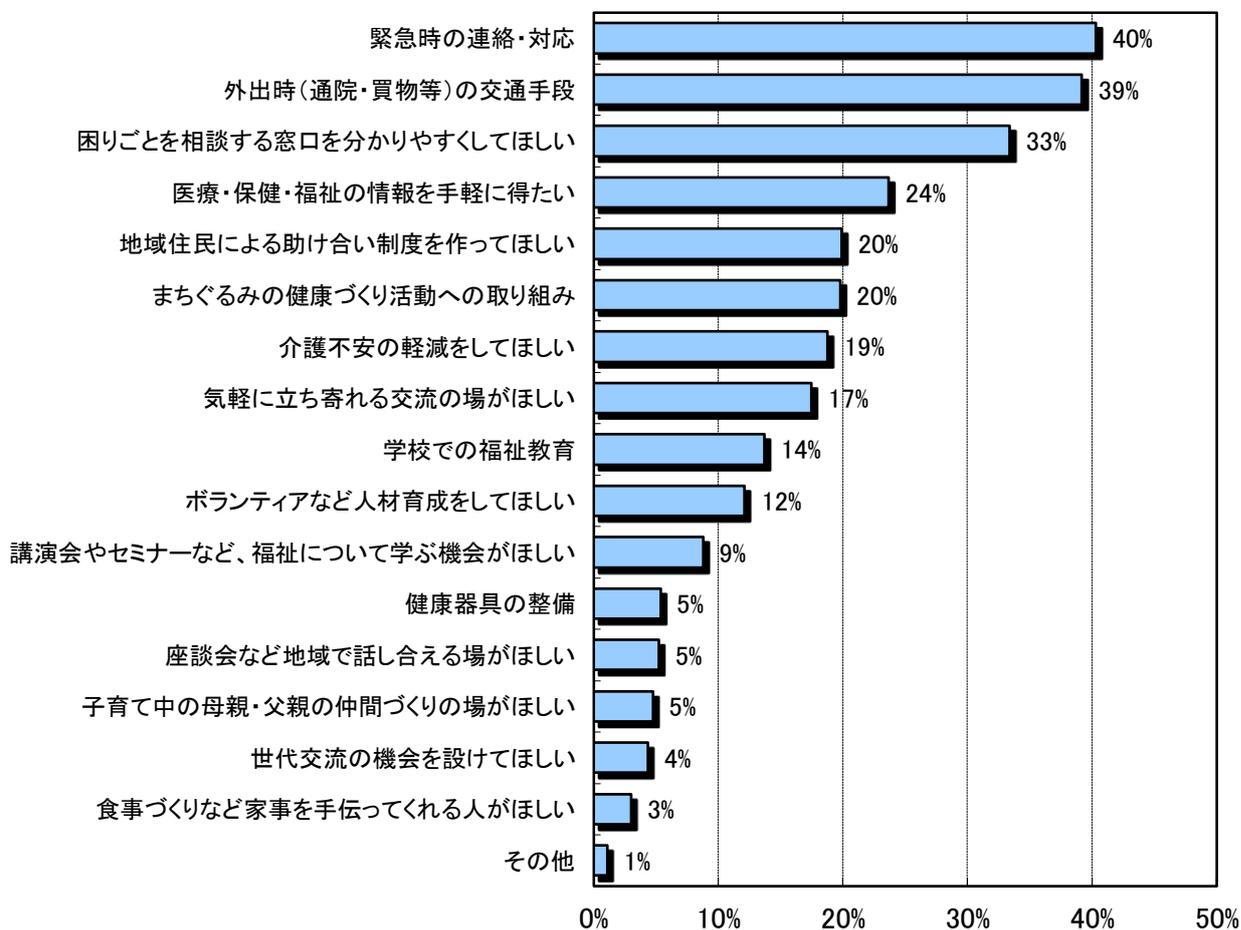
健康器具の整備

96人

その他

20人

福祉のまちづくりに取組んでほしいことは何ですか



27

年齢別構成

	緊急時の 連絡・対応	外出時の 交通手段	相談窓口 を分かり やすく	医療・保健 ・福祉の 情報入手 を手軽に	地域住民 による 助け合い 制度を作る	健康づくり 活動への 取り組み
全体	40%	39%	33%	24%	20%	20%
20歳未満	16%	—	33%	—	33%	33%
20歳代	13%	9%	11%	10%	9%	—
30歳代	27%	20%	31%	27%	10%	9%
40歳代	33%	33%	31%	26%	11%	12%
50歳代	38%	37%	34%	21%	22%	18%
60歳代	38%	36%	29%	20%	23%	26%
70歳代	44%	42%	32%	20%	21%	24%
80歳代	42%	53%	31%	19%	20%	18%

コメント

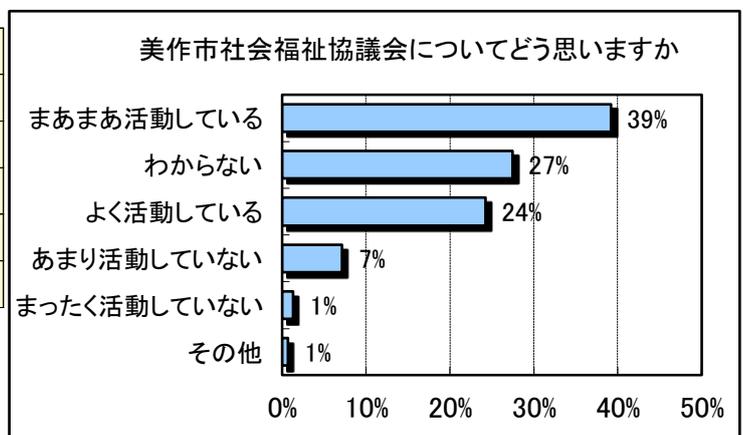
「緊急時の連絡・対応」と回答した方が40%で最も多く、次いで「外出時（通院・買い物）の交通手段」がほぼ同数で39%となっています。その他、上位に挙げた「相談窓口を分かりやすく」、「医療・保健・福祉の情報入手を手軽に」、「地域住民による助け合い制度を作る」といった回答は、住み慣れた地域で安全で安心な生活をおくるための生活課題とも言えます。

年齢別では、回答数の最も多い項目にばらつきがあり、世代による生活課題が浮き彫りになっていることが見うけられます。

28

問28 あなたは、今現在の美作市社会福祉協議会についてどう思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

よく活動している	438人
まあまあ活動している	708人
あまり活動していない	129人
まったく活動していない	24人
わからない	496人
その他	12人



年齢別構成

まあまあ活動している	わからない	よく活動している	あまり活動していない	まったく活動していない
------------	-------	----------	------------	-------------

全体	39%	27%	24%	7%	1%
20歳未満	33%	50%	—	16%	—
20歳代	14%	71%	10%		3%
30歳代	30%	43%	15%	5%	1%
40歳代	36%	37%	15%	5%	1%
50歳代	38%	31%	18%	9%	1%
60歳代	39%	20%	23%	8%	2%
70歳代	45%	13%	27%	7%	1%
80歳代	32%	14%	38%	4%	1%

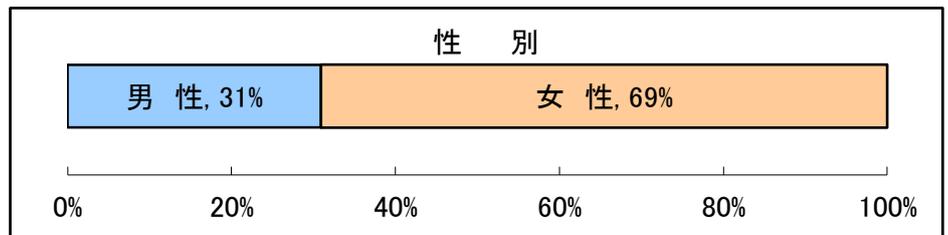
コメント

「まあまあ活動している」と回答した方が39%で最も多く、3番目に回答が多い「よく活動している」の24%を合わせると、約6割の方が社会福祉協議会の活動を概ね評価していただいているようです。
 一方で「わからない」と回答した方は、2番目に多く27%となっています。
 年齢別では、40歳代以下の方が「わからない」、50歳代から70歳代までの方は「まあまあ活動している」、80歳代の方は「よく活動している」が、それぞれ最も多い回答が寄せられており、世代によってはっきりと分かれています。

あなた自身についてお聞きします

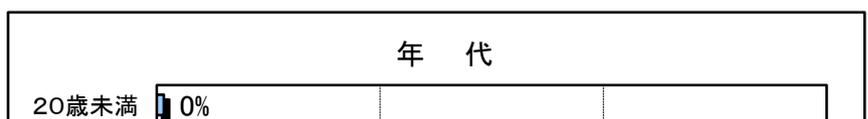
問29 あなたの性別をお答えください。

男性	572人
女性	1,278人

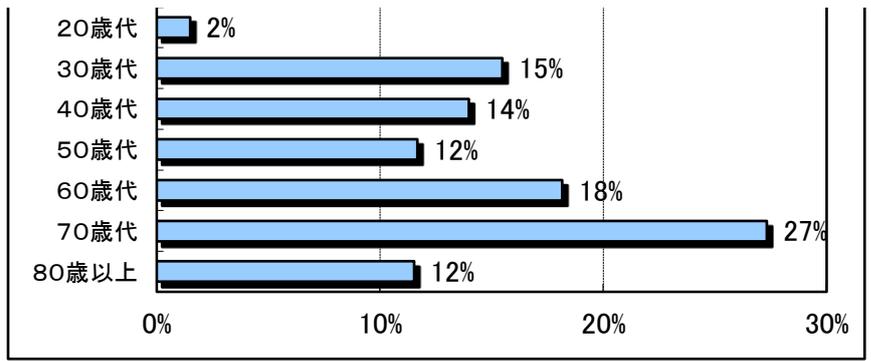


問30 あなたは何歳ですか。平成20年4月1日現在の年代を記入してください。

20歳未満	6人
20歳代	28人



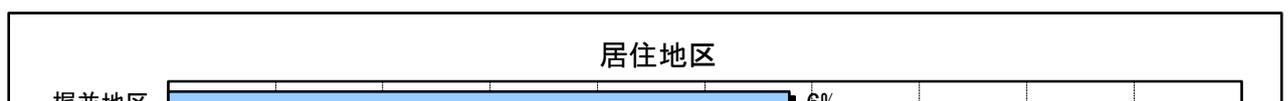
30歳代	289人
40歳代	261人
50歳代	218人
60歳代	339人
70歳代	510人
80歳以上	215人

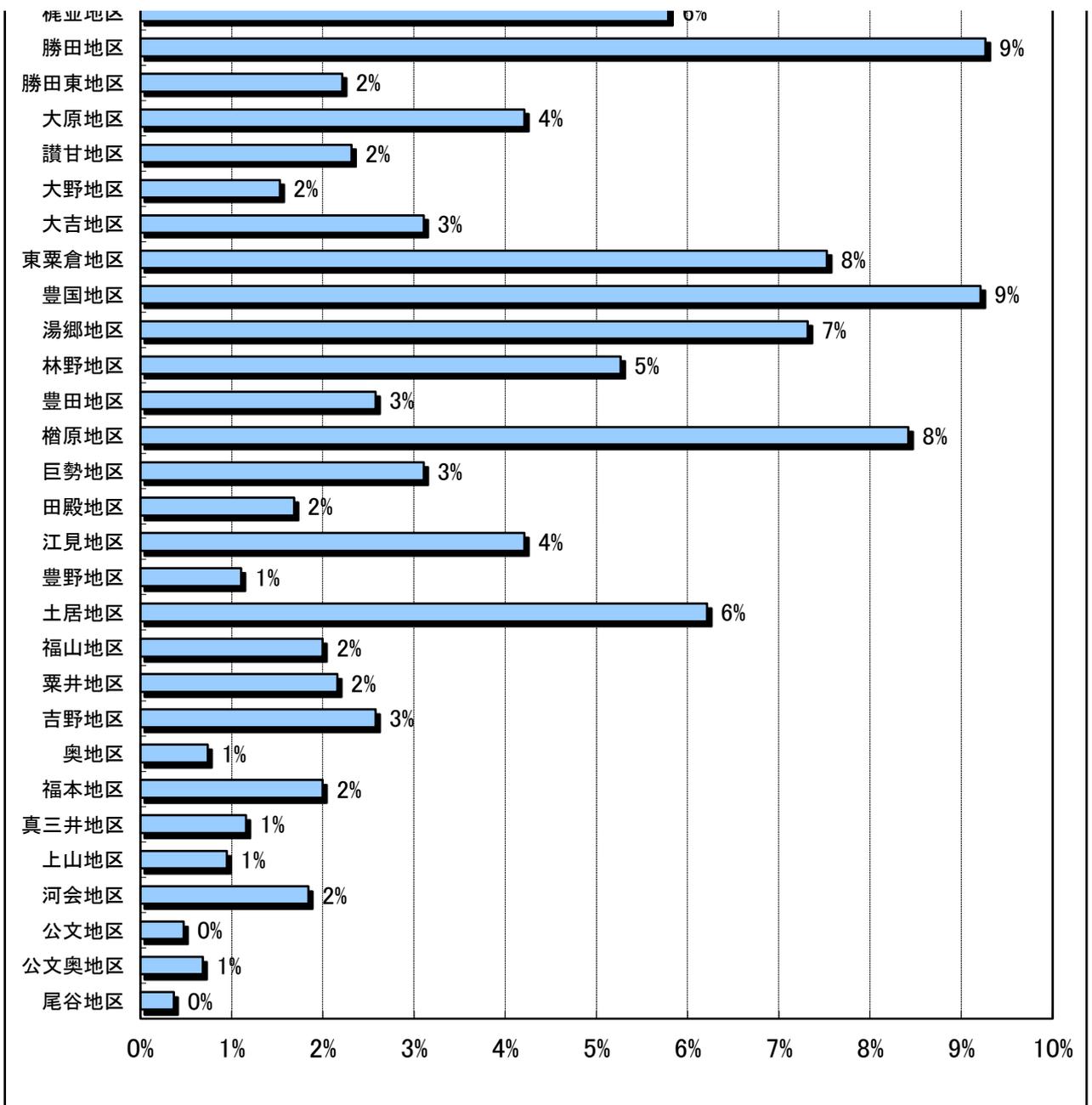


30

問31 あなたの住んでいる地区をお答えください。

梶並地区	110人	林野地区	100人	吉野地区	49人
勝田地区	176人	豊田地区	49人	奥地区	14人
勝田東地区	42人	榑原地区	160人	福本地区	38人
大原地区	80人	巨勢地区	59人	真三井地区	22人
讚甘地区	44人	田殿地区	32人	上山地区	18人
大野地区	29人	江見地区	80人	河会地区	35人
大吉地区	59人	豊野地区	21人	公文地区	9人
東栗倉地区	143人	土居地区	118人	公文奥地区	13人
豊国地区	175人	福山地区	38人	尾谷地区	7人
湯郷地区	139人	粟井地区	41人		

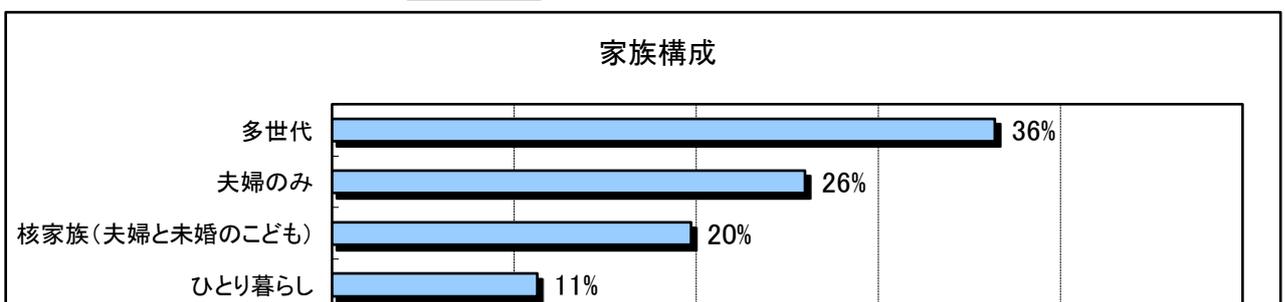


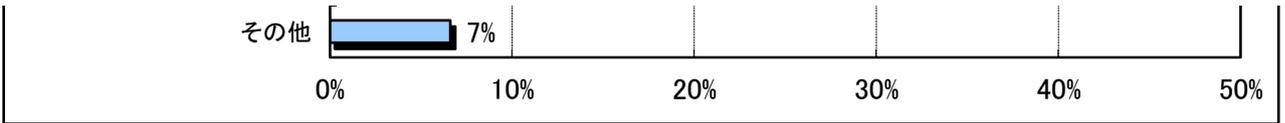


31

問32 あなたの家族構成をお答えください。

ひとり暮らし	210人
夫婦のみ	484人
核家族（夫婦と未婚の子ども）	367人
多世代	678人
その他	123人





コメント

「多世代」と回答した方が36%を占め、親と子と孫の3世代世帯の回答割合が最も多くなっています。